

第38回 地図地理検定（基礎）

問題・解答・解説

(2022年11月13日実施)

この問題と解説の全部または一部を、無断で複製・転載・利用することを一切禁じます。
また、問題の一部を変更している場合があります。

一般財団法人 日本地図センター
公益財団法人 国 土 地 理 協 会

◆問1 日本では、扇状地や山の斜面などの地形を活かして、さまざまな果樹を生産しています。次の表は、いくつかの農産物の収穫量について、上位5都道府県を示したもので、表中の①～④は、イチゴ、ウメ、ブドウ、ミカンのいずれかです。平成25年2万5千分1地形図図式では、果樹園の地図記号は ● で表示します。果樹園の地図記号で表示しないものを、表中の①～④のうちから1つ選びなさい。

	①	②	③	④
1位	栃木県	山梨県	和歌山県	和歌山県
2位	福岡県	長野県	愛媛県	群馬県
3位	熊本県	山形県	静岡県	三重県
4位	長崎県	岡山县	熊本県	宮城県
5位	静岡県	福岡県	長崎県	神奈川県

統計年次は2019年

『作物統計調査 作況調査（果樹）』などにより作成

【問1の答え】 ① (正解率55.0%)

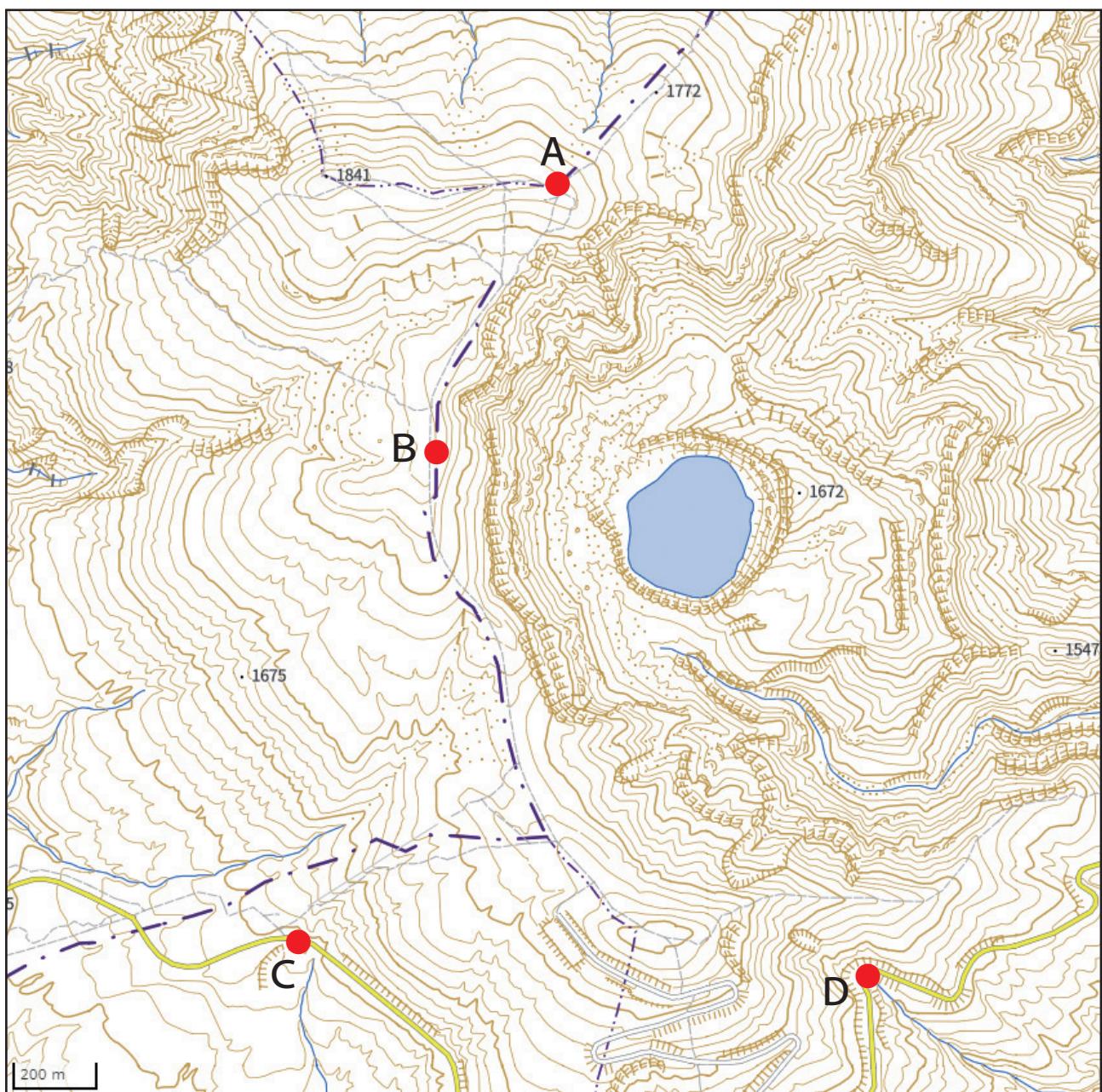
【ねらい】 果樹生産と地図記号を結びつける能力を問う。

【解説】 問題文にあるとおり、平成25年2万5千分1地形図図式では、果樹園の地図記号は  で表示し、果樹を栽培している土地に適用されます。③と④に着目すると、1位はともに和歌山県ですが、2位以下の県が大きく異なります。③は愛媛県や静岡県といった温暖な気候が共通の特徴としてあげられ、ミカンがあてはまります。一方で④は、和歌山県で全国の約65%を生産しているウメです。みなべ町や田辺市での生産が有名で、「南高梅」の発祥はみなべ町です。群馬県で生産されたウメは「カリカリ梅」の原料として工場に出荷されることが多いです。

②は山梨県や長野県といった果樹生産で有名な県が上位に位置しています。また、日本で初めて巨峰の生産に成功したのが福岡県ともいわれていることから、②がブドウと判断できます。

残った①はイチゴで、栃木県の「とちおとめ」「スカイベリー」「とちあいか」、福岡県の「あまおう」、静岡県の「紅ほっぺ」などが有名です。農林水産省の定義によると、苗を植えて1年で収穫する草本植物は「野菜」に分類され、イチゴやスイカ、メロンなどは「野菜」となります。野菜や芝、パイナップルなどを栽培している土地は畑で、地図記号は  で表示します。つまり、野菜であるイチゴは畑の記号で表示されるため、正解は①となります。なお、ビニルハウスでの栽培の場合は、無壁舎の記号である  で表示します。

- ◆ 次の地図は、蔵王山周辺を地理院地図Vectorで表示したものです。この地図を見て、次の問2、問3に答えなさい。



地理院地図 Vector により作成

問2 次の写真は、蔵王山の山頂付近にみられる植物を撮影したものです。この植物をあらわしている地図記号を、下の①～④のうちから1つ選びなさい。



① Q

② ↓

③ ↑

④ Λ

問3 次の写真は、蔵王山の山頂部にある「御釜」を地図中のA～Dのいずれかの地点から撮影したものです。撮影地点として正しいものを、下の①～④のうちから1つ選びなさい。



① A

② B

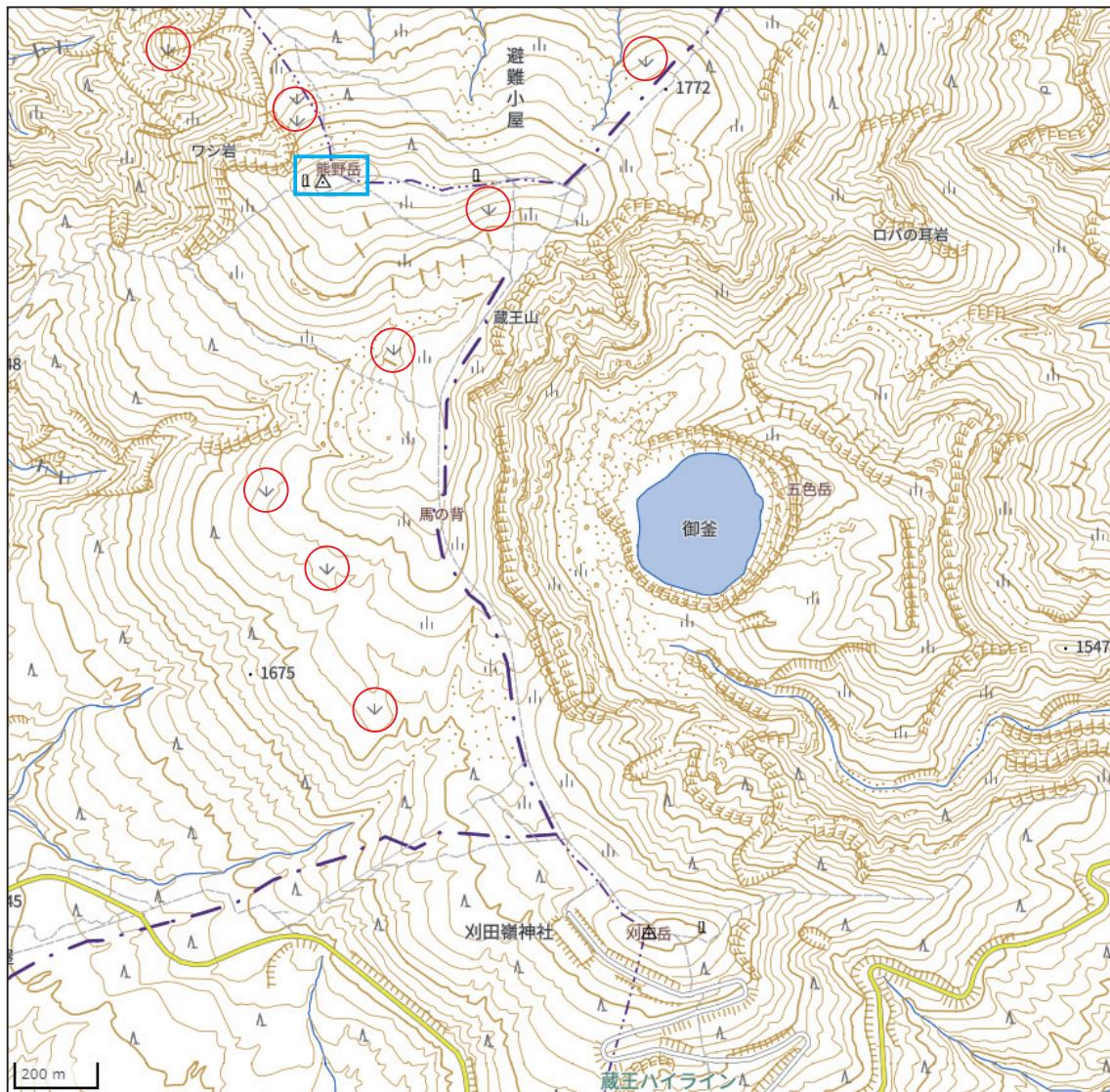
③ C

④ D

【問2の答え】 ② (正解率71.9%)

【ねらい】 実際に見ることができる植物と地図記号で表示される植物とを結びつける能力を問う。

【解説】 蔵王山は宮城県と山形県にまたがり、山頂は熊野岳（設問の地理院地図Vector中の標高1,841mの地点、下図の青印の地点）です。山頂付近にみられる写真の植物は、高山帯を代表する樹木のハイマツ（這松）です。一般に、ハイマツは森林限界より高山帯に生育することが多いといわれています。ハイマツなど樹高の低い「わい性松」の密生している地域に適用される地図記号が、②の「ハイマツ地」です。①は広葉樹林、③はヤシ科樹林、④は針葉樹林の地図記号です。この問題は、『過去問集新選100』問004のアレンジ問題です。



【問3の答え】 ② (正解率87.4%)

【ねらい】 等高線の判読を通して景観写真の撮影位置を判定する能力を問う。

【解説】 まず等高線に着目して各地点の標高を読み取ると、大凹地である御釜は1,560mです。

1,820mのAと1,770mのBからは御釜を見ることができます。しかし、1,600mのCと1,580mのDからは、標高約1,700mの崖が立ちはだかり、御釜を見ることができません。

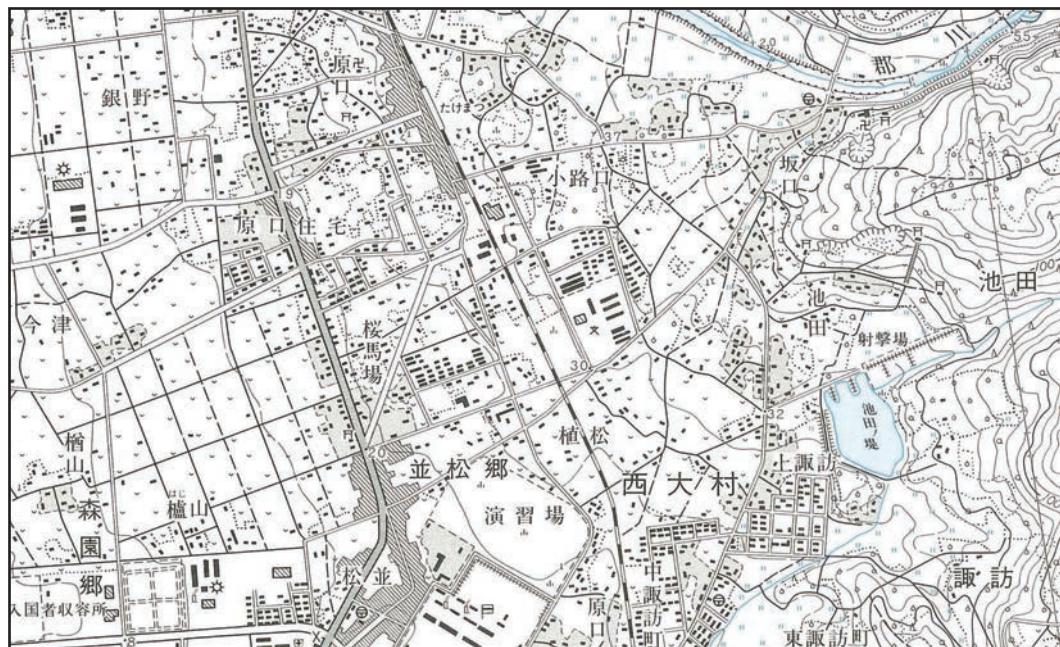
景観写真では、御釜の火口縁に着目すると、手前側が開けていることがわかります。御釜のすぐ右後ろに、標高が高い地点（1,672mの五色岳）が見えています。また、御釜の凸部が手前側に位置していることも判断材料とし、正解はBの②となります。なおAの場合は、五色岳が御釜の左側に見えることになります。この問題は、第35回問2のアレンジ問題です。

◆問4 2022年9月、西九州新幹線が開業し、長崎県大村市には新大村駅が設置されました。アオバさんは、どのような場所に新駅が設置されたのかという点に興味をもち、新駅周辺の景観の変化を知るために、発行年が異なる地形図を集めました。次のA～Dの地形図を古いものから新しいものへ順に並べたときの正しい順番を、右の①～④のうちから1つ選びなさい。

A

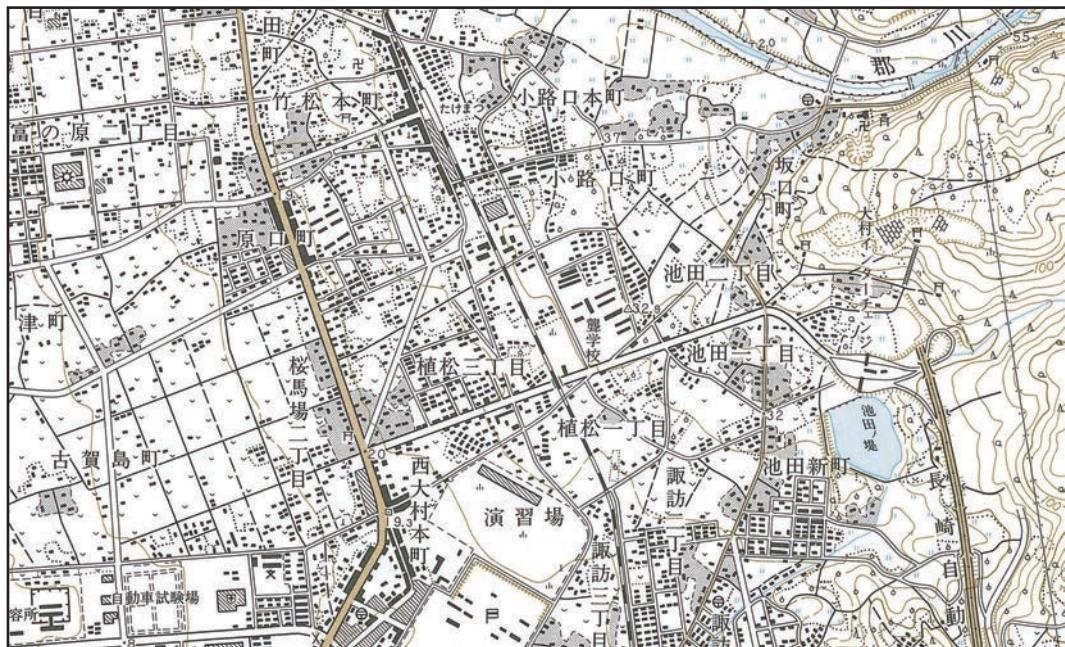


B

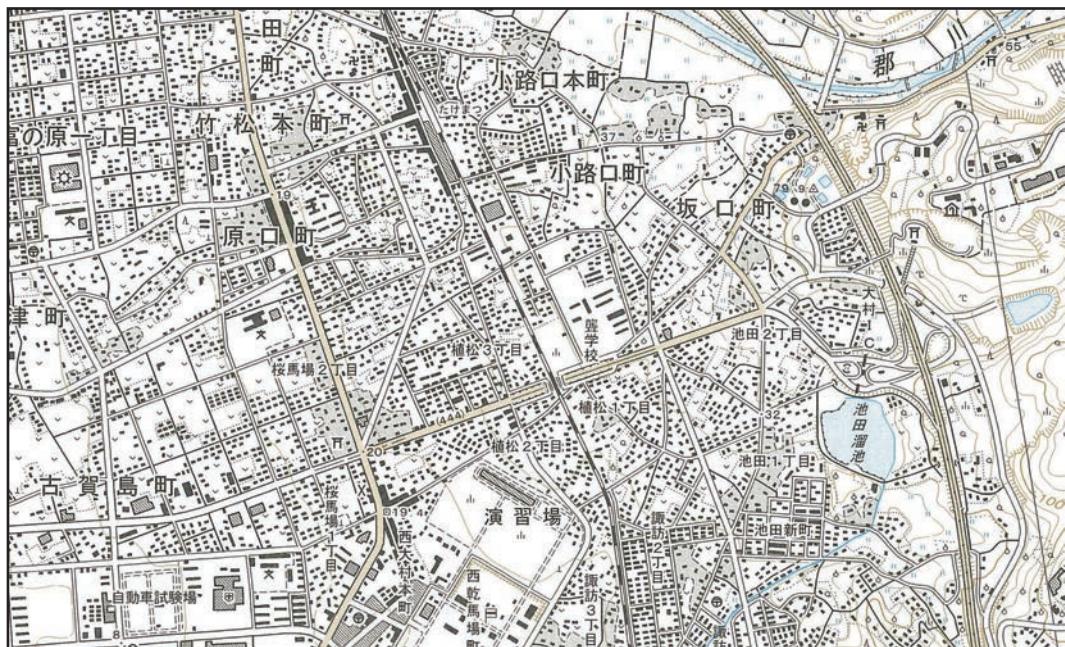


- ① A → C → B → D
- ② A → D → C → B
- ③ B → C → A → D
- ④ B → C → D → A

C



D



2万5千分1地形図「武留路山」（昭和45年改測、昭和58年修正、平成2年修正、平成19年更新）順不同、原寸

【問4の答え】③(正解率96.1%)

【ねらい】 地形図に描かれた情報から地域の変遷を読み取る能力を問う。

【解説】 道路の開通や宅地の増加に着目して、地域の変化を確認していきましょう。まず、地図東部の高速道路（長崎自動車道）に着目し、まだ開通していないB（昭和48年修正）が一番古いことがわかります。次にC（昭和58年修正）では、大村IC以南が開通していることがわかります（高速道路の開通は1982（昭和57）年）。

AとDでは、宅地化されている地域の密度に着目します。「たけまつ」駅の西部や南東部の宅地から、A（平成2年修正）の方が古く、D（平成19年更新）が新しいとわかります。また、Dは世界測地系に移行した平成14年図式であるため、地名の書体が他と異なるものがあります。

なお、新大村駅のロータリー（駅前広場）は、地図中央付近の、線路と聾学校（移転済み）との間の荒れ地だった場所に設置されました。新幹線開通後の地理院地図は以下のとおりです。この問題は、『過去問集新選100』問020、問022のアレンジ問題です。



◆問5 高校生のキヨウカさんたちは、新旧の地形図を比較して、新潟市中心部の変化を調べてまとめることにしました。次ページの図1は1931年の地形図、図2は2022年の地理院地図です。2つの図から読み取れるこの地域の変化を述べた次の会話文中の下線部①～④のうちから、誤りがあるものを1つ選びなさい。

キヨウカ 「新潟市は本州の日本海側で唯一の政令指定都市だよ。先生からもらった昔の地形図と、今の地理院地図を見比べて、新潟市の中心部がどのように変化していったか、確認してみよう」

アユミ 「昔の地形図を見ると、信濃川の右岸と左岸とで別のまちがひろがっているようだ」

キヨウカ 「右岸は合併で新潟市になった背景があるからね。川幅を比較すると
①両岸を埋め立てて土地を拡大したみたい」

アユミ 「いまは右岸と陸続きになっている万代島は、昔は中州だったんだ。鉄道は右岸と左岸で分断されていたみたいだけど」

キヨウカ 「いまの鉄道は結ばれて、信濃川を渡ることができるよね。②線路が短絡されて新潟駅が移転したこと、昔の地形図からわかる」

アユミ 「地図記号などに着目して、旧新潟市がある左岸をこまかく見てみよう」

キヨウカ 「いまは道路になっているけど、昔は堀が張り巡らされていたんだ。停船所という船着き場を示す地図記号がある」

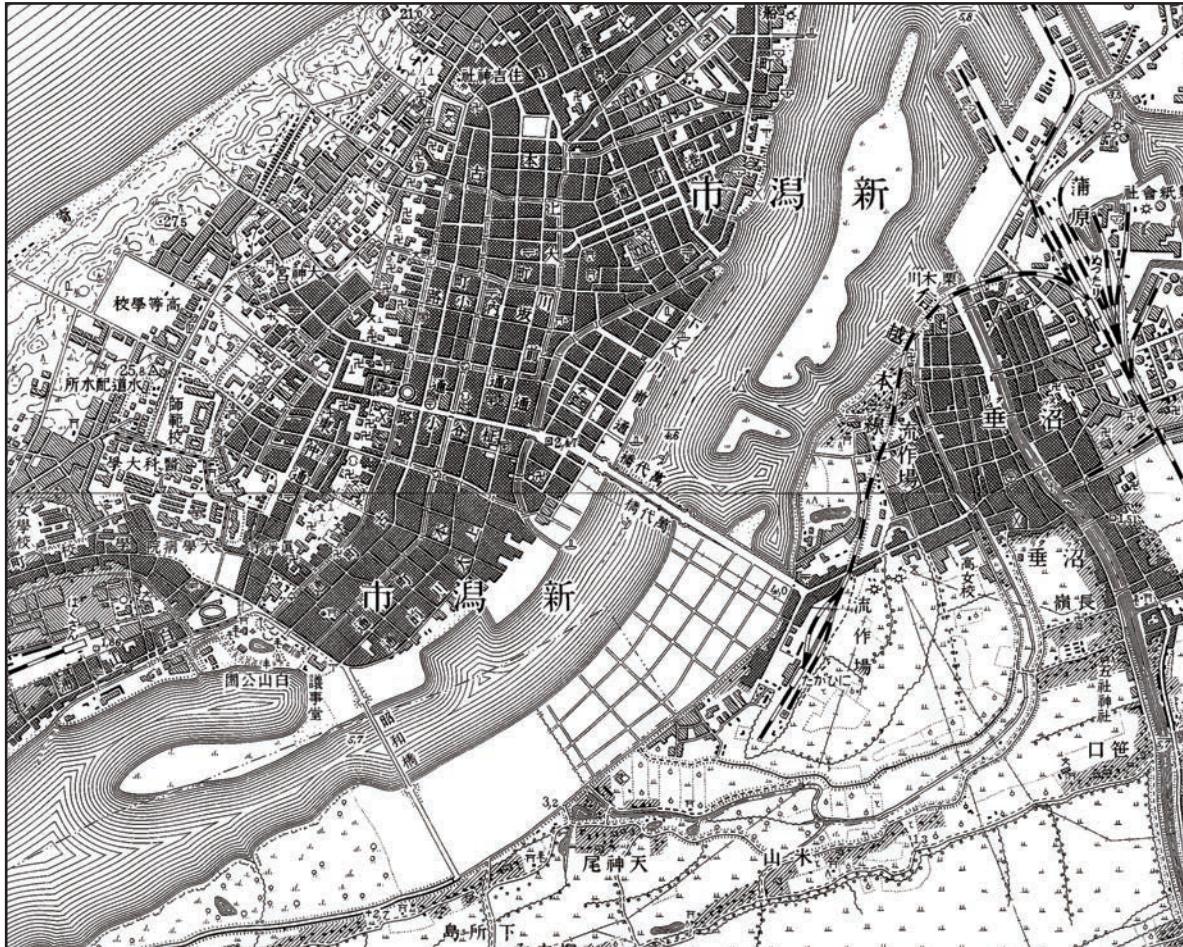
アユミ 「東仲通のすぐ東側には寺院が列状に並んでいる。ここは③城下町に由来する寺町が起源だね」

キヨウカ 「昔の地形図は、県庁も地図記号で表記されていたと先生から聞いたことがある」

アユミ 「県庁だけでなく、④市役所が移転しているね。1931年以外の地形図も集めて、新潟市が拡大していく様子をもっとこまかく知りたくなった」

キヨウカ 「そうだね。先生に昔の地形図の入手方法を聞いてこよう」

図 1



2万5千分1地形図「新潟北部」「新潟南部」昭和6年修正 原寸

図 2



【問5の答え】 ③（正解率55.0%）

【ねらい】 新旧地形図を比較して読図する能力を問う。

【解説】 新潟市の中心部を流れている河川は信濃川です。左岸に旧新潟市、右岸に旧沼垂町がひろがっています。

会話文にあるとおり、右岸は大きく埋め立てられ、中州だった万代島も陸続きになっています。左岸の埋め立てについては、白山公園付近に注目するとよいでしょう。埋め立てられた部分には、競技場や体育館、県民会館などが立地しています。よって①は正しいです。

右岸を走る信越本線は、沼垂駅を経由して新潟駅に向かって伸びていました。また沼垂駅付近から複数の貨物線が分離していることもわかります。現在の地理院地図をみると、沼垂駅は廃止され、新潟駅の向きも大きく異なっています。よって②も正しいです。なお、旧新潟駅は現在、公園やホテルの敷地などとなっています。また①と関連して、越後線の白山駅の場所も異なっています。

旧新潟市には寺院が列状に並んでいることがわかります。しかしこれは、当時の海岸線に沿って建てられたと考えられており、また、地形図中には城跡を示す地図記号や注釈は見当たりません。新潟市は、城下町起源ではなく、港町として発展した背景があります。よって③が誤りです。

かつては県庁を示す地図記号があり、現在の20万分1地勢図で使用されているものと同じでした。旧県庁の位置に市役所が移転したことがわかります。よって④は正しいです。なお、旧市役所があった場所は、現在は新潟市中央区役所があります。この問題は、第36回問3のアレンジ問題です。

◆問6 次の3枚の写真は、城跡から市内を眺望したもので、写真を撮影した城跡が含まれる地理院地図はア～ウのいずれかです。写真とア～ウとの正しい組み合わせを、下の①～⑥のうちから1つ選びなさい。ただし、眺望した方向は写真ごとに異なります。

写真1



写真2



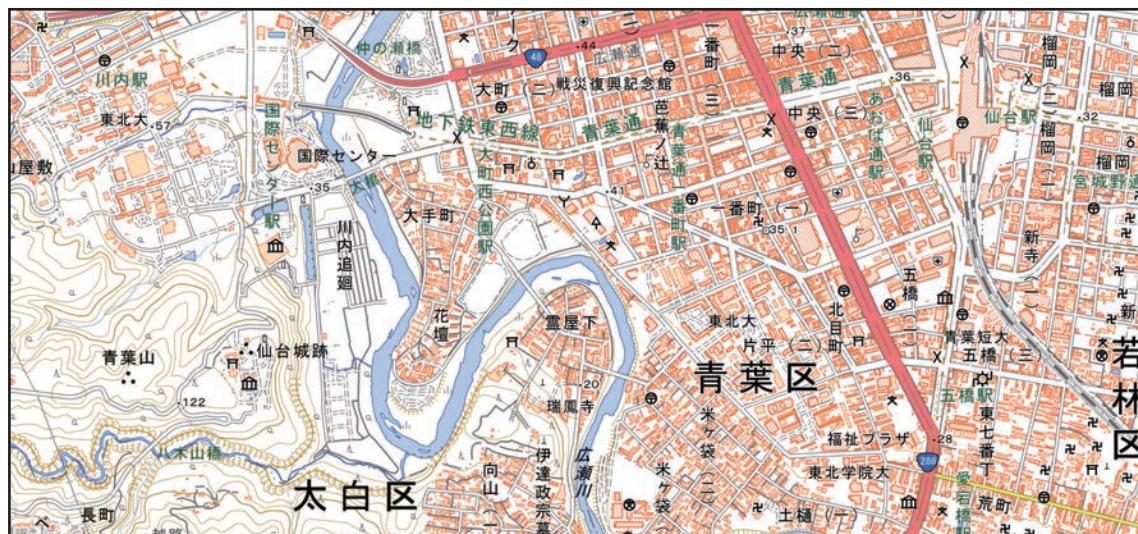
写真3



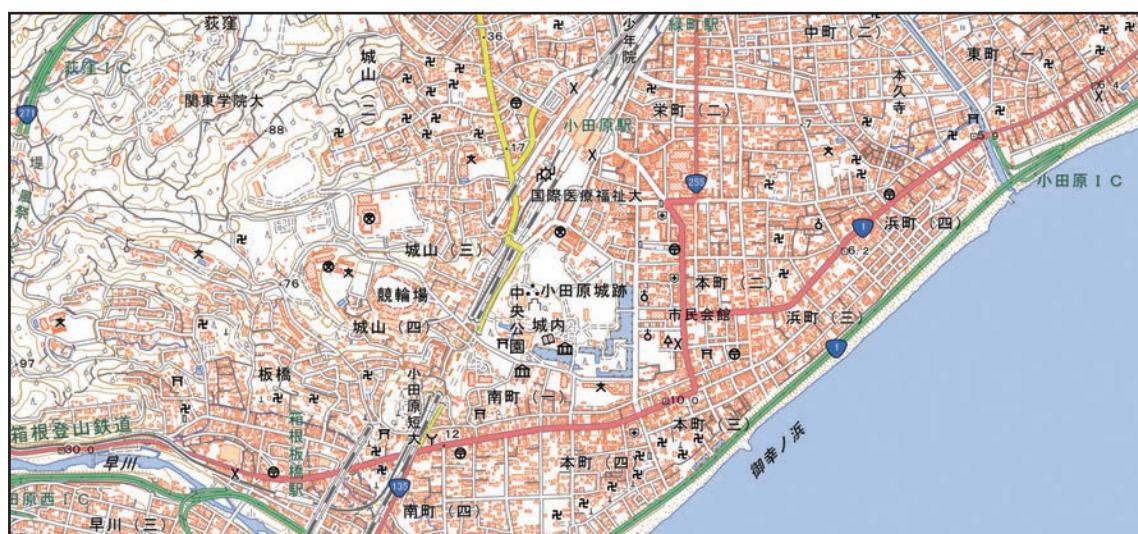
ア



イ



ウ



	①	②	③	④	⑤	⑥
写真1	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
写真2	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
写真3	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

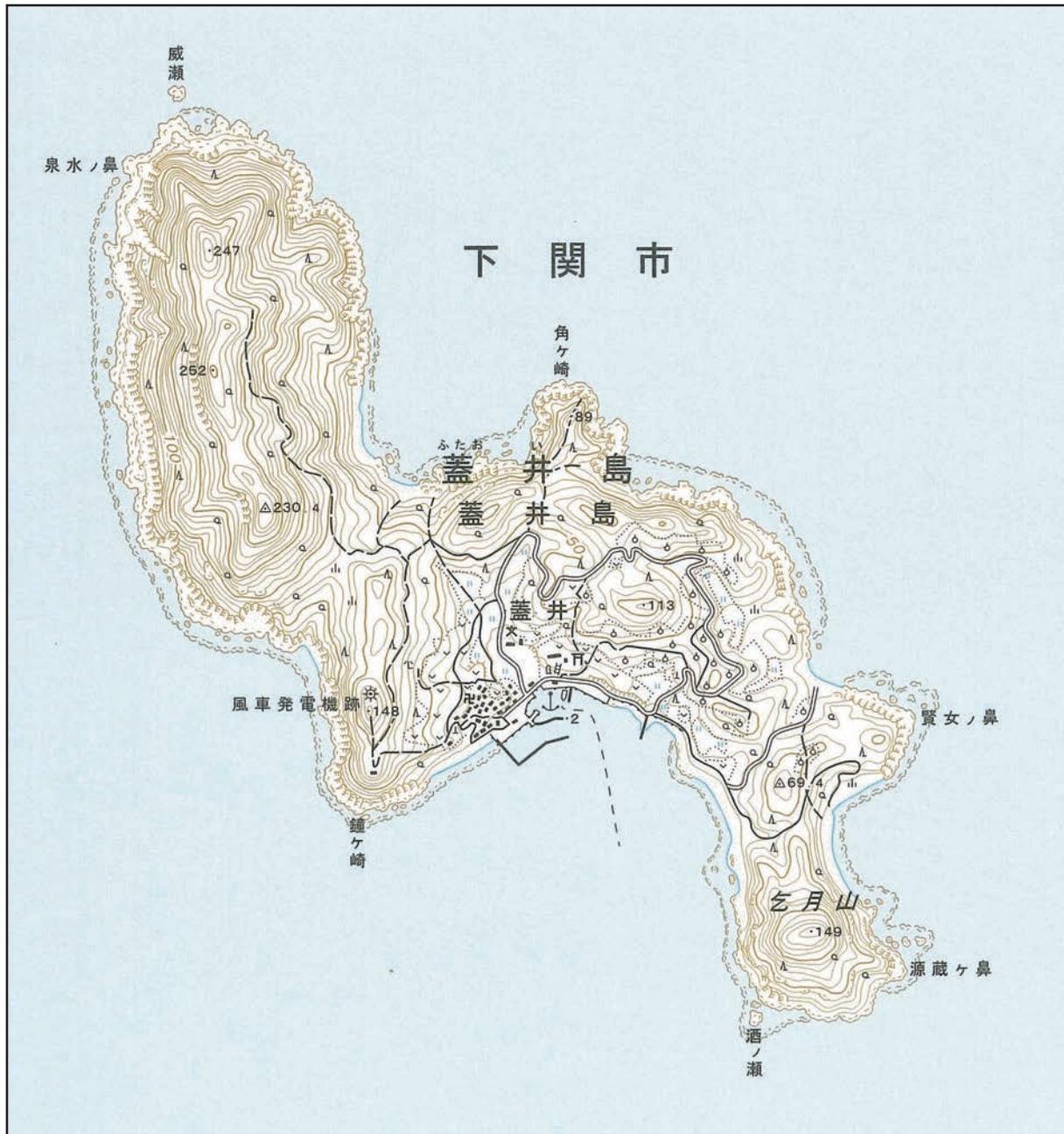
【問6の答え】 ⑥ (正解率95.7%)

【ねらい】 実際に見ることができる景観と地理院地図の情報を照合させる能力を問う。

【解説】 まず、景観写真から読み取れることを整理しましょう。写真1について、住宅地の奥に海が見え、海岸線は直線的であることがわかります。また海の奥には、ぼんやりと島が見えます。写真2について、手前に河川があり、高層ビルをはじめとする住宅地が広範囲に見えます。写真3について、全面的に農地がひろがり、撮影地点の標高があまり高くないように感じます。次に、地理院地図から写真を撮影した城跡を確認します。アには地図の中央に城跡の地図記号があり、イとウには史跡・名勝・天然記念物の記号とともに注記があります。

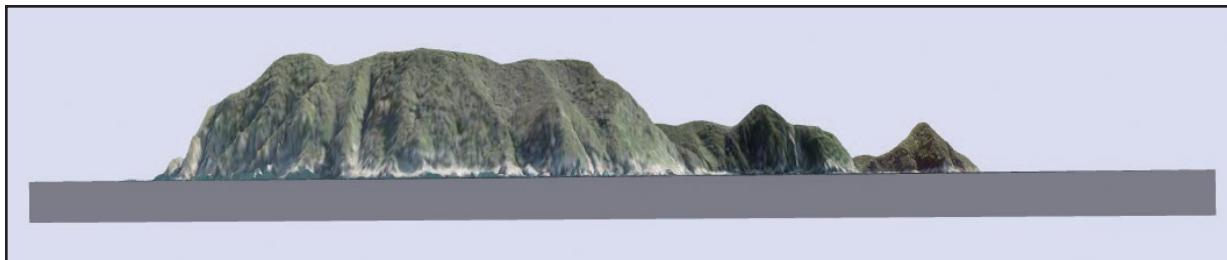
これらの情報を照合させ、撮影位置を特定していきます。海が見える写真1は、ウの小田原城跡から南東方向を撮影したものです。なお写真奥に見える島は大島と推測できます。全面的に農地が見える写真3は、アの佐倉城跡から南西方向を撮影したものです。農地は地図記号から水田であることがわかり、また、水田の様子から撮影した時期が冬であると推測できます（実際は12月撮影）。残った写真2が、イの仙台城跡から北東方向を撮影したものです。城跡が120mほどの高台となっているため、河川がゆるやかにカーブしていることもわかります。住宅地だけではなく、景観写真にみられる多くの地理的事象から判定するようにしましょう。よって正解は⑥です。

◆問7 次の地図は、山口県最西端に位置する、響灘に浮かぶ蓋井島です。次ページの4つの画像は、この島の形を地理院地図で3D表示し、東西南北のほぼ水平位置から見た姿を示したものです。この島を南側から見た画像を、右の①～④のうちから1つ選びなさい。ただし、高さは1.5倍に拡大しています。

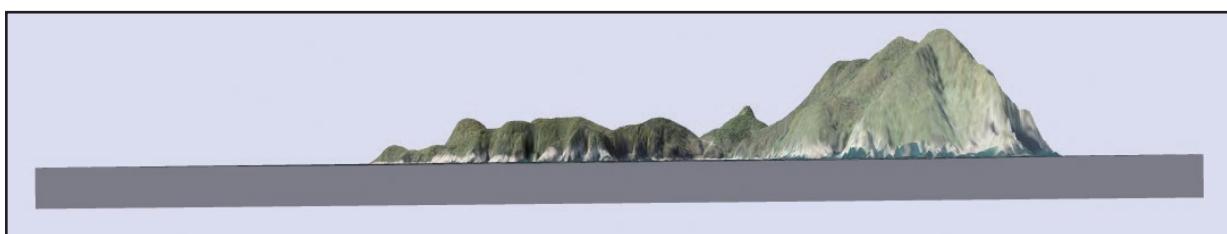


2万5千分1地形図「蓋井島」平成18年更新 原寸

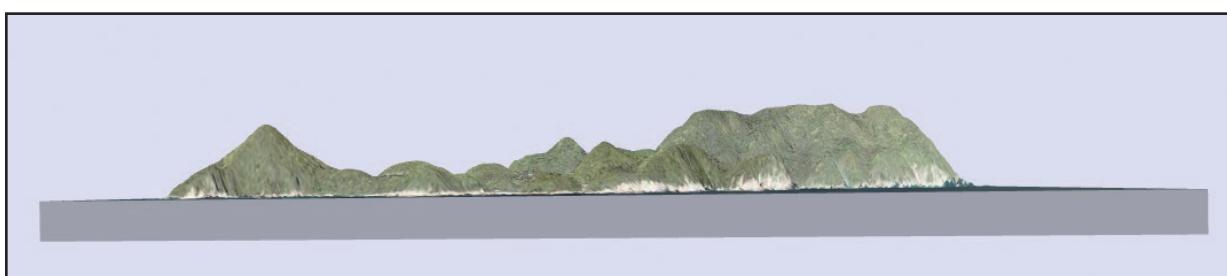
①



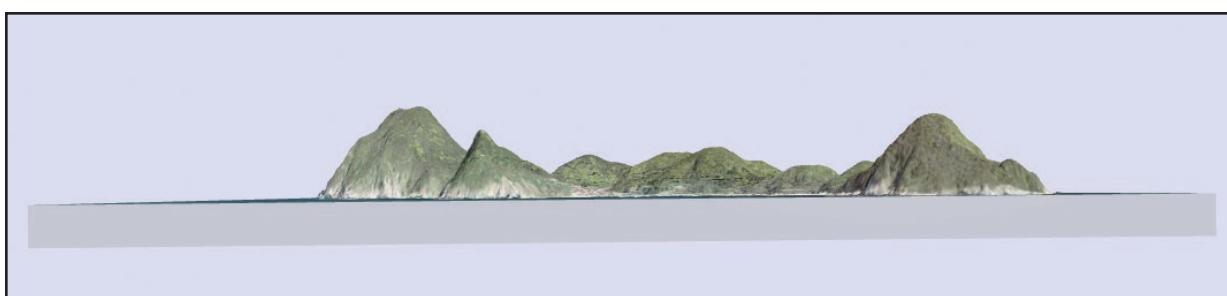
②



③



④



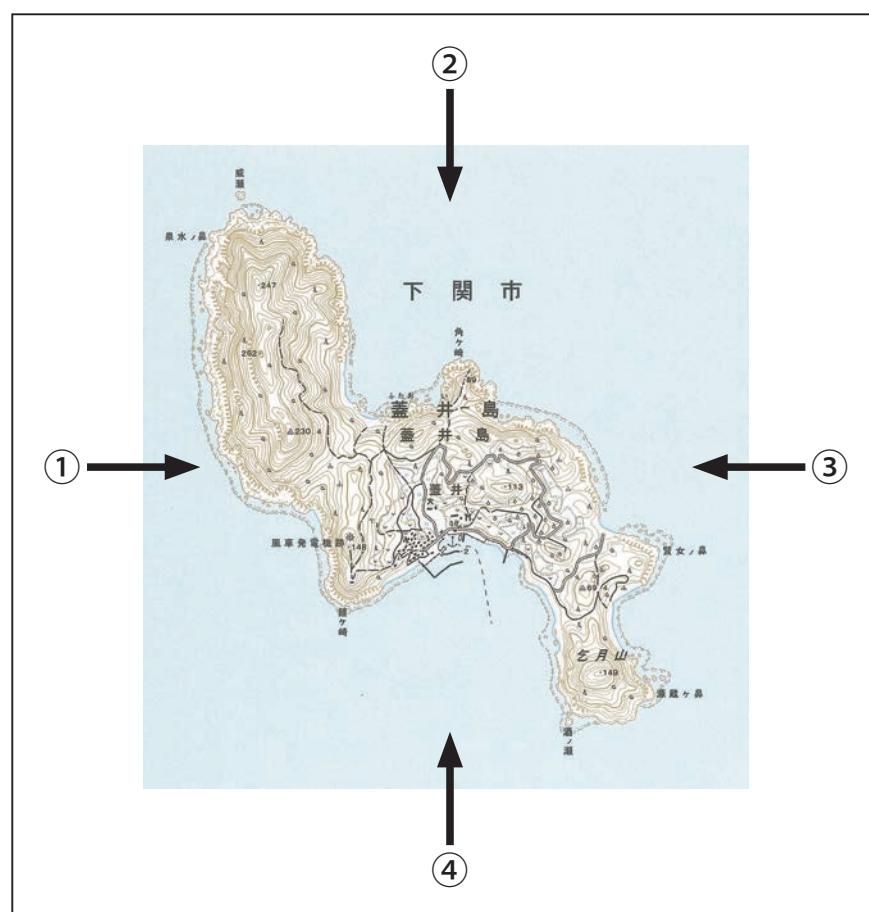
【問7の答え】④（正解率74.9%）

【ねらい】 地形図に描かれた等高線から立体的な島の姿を考察する能力を問う。

【解説】 画像は、地理院地図の最新写真を3D表示したものです。上から見た地形図の等高線表記から水平方向から見た形を想像することができると、実際に地上（または水面）に近いところから眺めた景色に近い姿があらわれます。

蓋井島はS字のような形をしているのが特徴で、北西部には最高地点252mをもつ急峻な山地が、南東部には標高149mの円錐状の乞月山があります。この部分に着目し、画像の方向を判定しましょう。①は急峻な山地が手前に見えているので、西から見た画像となります。②は急峻な山地が右側に見え、左奥の乞月山は判断しにくいため、北から見た画像となります。③は乞月山が左側に位置することから、東から見た画像となります。④は右側よりも左側の最高地点の方が高いように見えます。また、灯台がある最高地点148mの円錐状の山や、島中央部の集落も確認することができます。よって④が南から見た画像です。なおこの灯台は、「風車発電機跡」とあるように、1951（昭和26）年に日本ではじめて風力発電が導入された灯台といわれています。

地形図から、島の中央部の南に面したところに港があり、また民家が集中していることもわかります。さらには航路も描かれ、船で島に近づく際に④のような景色が見えるのではないかでしょうか。



◆問8 次の地形図は、埼玉県東部に位置する松伏町とその周辺地域を示したもの。この地形図から読み取れることとして正しいものを、下の①～④のうちから1つ選びなさい。



2万5千分1地形図「越谷」令和元年調整 原寸

- ① 「ゆめみ野東（四）」にある池から総合公園内の体育館までは、直線距離でおよそ1.5kmである。
 - ② 「須賀」集落を囲むような市区町村界は、かつての河川の流路であり、現在は水田として利用されている。
 - ③ 「川端」と「ゆめみ野（三）」とでは、前者の方が集落の形成時期が古いと考えられる。
 - ④ 「東越谷（六）～（十）」の地域には、交番、保健所、裁判所が立地している。

【問8の答え】 ③（正解率67.1%）

【ねらい】 河川地形の一つである氾濫原地域を事例とした地形図の基本的な読図能力を問う。

【解説】 平野を流れる河川はS字状に蛇行し、洪水時に河川から水があふれ、土砂を堆積することによって形成する地形を氾濫原といいます。

「ゆめみ野東（四）」にある池から体育館までは、解答用紙上の目盛を使用して10cmです。設問の図は2万5千分1地形図であり、地図上の1cmが250mのため、距離はおよそ2.5kmになります。よって①は誤りです。

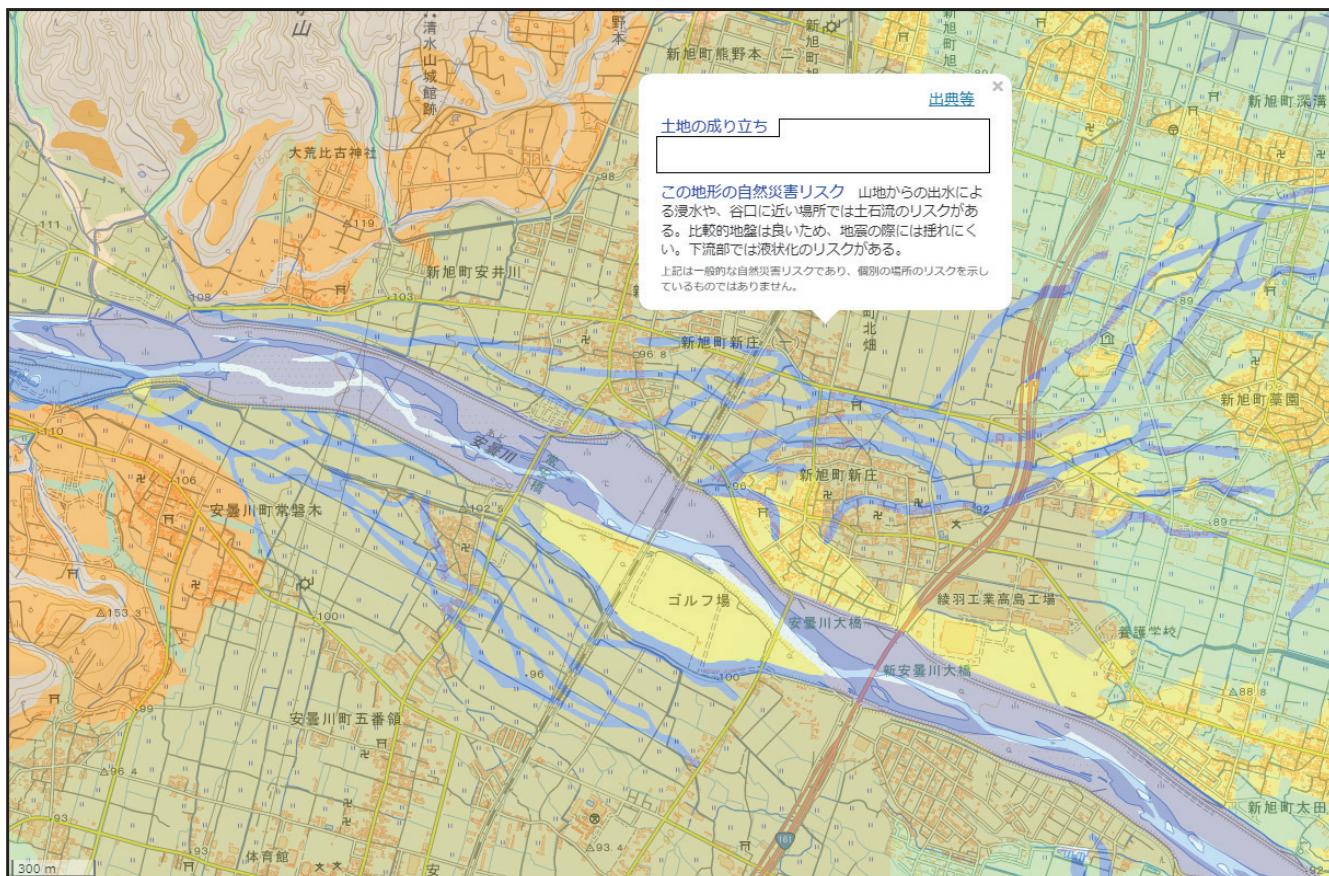
「須賀」集落を囲むような市区町村界は、かつて蛇行していた河川の流路跡にあります。水田ではなく荒れ地となっているため②は誤りです。なお、河川は改修により直線化することはできますが、市区町村界などを変更することは容易ではありません。そのため、この地域のように市区町村界が旧流路に残ってしまうところが日本には多くみられます。

「川端」のような、河川に沿った微高地を自然堤防といい、古くからの集落や寺社が立地することが多いです。一方で、「ゆめみ野（三）」は、道路が直線的であり区画が整理され、水田だった土地に作られた新興住宅地と推測することができます。よって③は正しいと判断できます。ひらがなと漢字による、新しそうな現代風の地名であることもヒントとなるかもしれません。

「東越谷」の地域にはさまざまな地図記号がみられますが、交番は  であるため、④が誤りです。なお、設問の図中にみられる地図記号は以下のとおりです。この問題は、第37回問9のアレンジ問題です。

警察署	郵便局	病院	保健所	裁判所	官公署

◆問9 次の地図は、地理院地図に地形分類（ベクトルタイル提供実験）を表示したものです。この地図上で任意の地点をクリックすると、「土地の成り立ち」と「この地形の自然災害リスク」を表示することができます。図で示した地点の「土地の成り立ち」の説明文として正しいものを、下の①～④のうちから1つ選びなさい。



地理院地図により作成

- ① かつて河川の流路だった場所で、周囲よりもわずかに低い土地。流路の移動によって河川から切り離されて、その後に砂や泥などで埋め立てられてできる。
- ② 現在や昔の河川に沿って細長く分布し、周囲より0.5～数メートル高い土地。河川が氾濫した場所に土砂が堆積してできる。
- ③ 山麓の谷の出口から扇状に広がる緩やかな斜面。谷口からの氾濫によって運ばれた土砂が堆積してできる。
- ④ 周囲より階段状に高くなった平坦な土地。周囲が侵食により削られて取り残されてできる。

【問9の答え】 ③（正解率45.9%）

【ねらい】 地理院地図と自然災害リスクを読み取り、地形を説明できる能力を問う。

【解説】 河川が山地から平地にでた部分に形成する地形を扇状地といい、山麓に近い方から、扇頂、扇央、扇端と区分されます。この地域は、琵琶湖に注ぐ安曇川がつくる扇状地で、図の左側にある「山地」や「台地・段丘」にはさまれた部分から河川が流れることを判断のポイントとすることができます。よって「土地の成り立ち」として正しく説明しているのは③になります。なお、①は「旧河道」の説明文で図中の水色で示された部分、②は「自然堤防」の説明文で河川沿いの黄色で示された部分、④は「台地・段丘」の説明文でオレンジ色で示された部分となります。以下に、地理院地図に表示される「この地形の自然災害リスク」を記載します。

旧河道：河川の氾濫によって周囲よりも長期間浸水し、水はけが悪い。地盤が軟弱で、地震の際は搖れが大きくなりやすい。液状化のリスクが大きい。

自然堤防：洪水に対しては比較的安全だが、大規模な洪水では浸水することがある。縁辺部では液状化のリスクがある。

台地・段丘：河川氾濫のリスクはほとんどないが、河川との高さが小さい場合には注意。縁辺部の斜面近くでは崖崩れに注意。地盤は良く、地震の揺れや液状化のリスクは小さい。

◆問10 栃木県出身の高校生のヒロシさんは、海にあこがれを持ち、海岸地形について調べています。2枚の地理院地図（図1および図2）を見たヒロシさんたちの会話文を読み、下線部①～④のうちから、誤りがあるものを1つ選びなさい。

ヒロシ 「図1は山口県の萩港周辺の地理院地図で、笠山にある展望台からは日本海がよく見えることで有名だ」

オサム 「そうなんだ。笠山や麓の越ヶ浜集落の位置関係は、函館と似ているね」

ヒロシ 「笠山はもともと島で、①越ヶ浜集落があるところは沿岸流の影響で土砂が堆積したトンボロということだね」

オサム 「三角点から標高が低いことがわかる。津波に対応するために、沿岸で地震が発生したら ②少しでも標高が高いところに避難するのがよい。図2は千葉県の九十九里浜の地理院地図で、海岸に沿って集落が立地している」

ヒロシ 「③自然堤防という地形に集落が立地しているんだ。集落名に着目すると、浜と岡の部分が違うだけで、同じ文字が付く集落がいくつかある」

オサム 「もともとは内陸の岡集落を生活拠点とし、浜集落は漁具などを納めておいた納屋と先生から聞いたことがある」

ヒロシ 「この地域は離水海岸で平坦な地形だ」

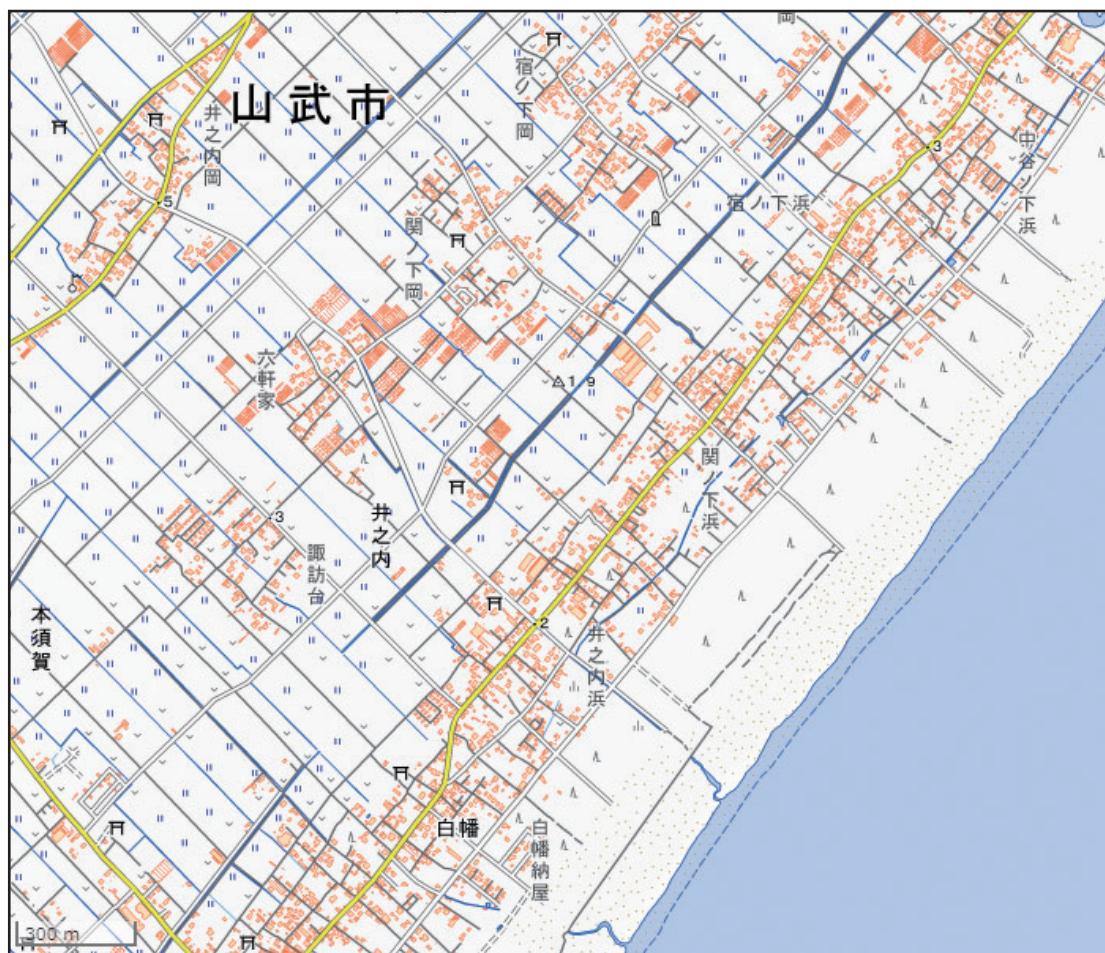
オサム 「沿岸で地震が発生したときは、近くに避難ビルがあればそれを登ればよいが、④少しでも内陸部に逃げるのがよいと考えられる」

ヒロシ 「元禄地震に関する自然災害伝承碑の教訓を大切にしたいね」

図1



図2



【問10の答え】 ③ (正解率57.6%)

【ねらい】 日本にみられる海岸地形と防災に関する理解を問う。

【解説】 図1は山口県の萩港周辺の地理院地図です。会話文にあるとおり、笠山がある部分がかつて島で、砂州によって陸地と一体化しました。一体化した砂州の部分をトンボロといい、集落がある部分がそれに当てはまります。よって①は正しいです。函館と地形が似ているという会話文からも、トンボロを推測してもよいでしょう。なお、笠山が含まれる部分は陸繫島といいます（函館の場合、函館山がある部分を指す）。1.7mの三角点があるように、この砂州の部分の標高はとても低く、津波が発生した際は少しでも標高が高い地域に避難する必要があります。よって②も正しいです。

図2は千葉県の九十九里浜の納屋集落を示した地理院地図です（範囲内には浜集落も含まれます）。海岸線と並行して複数の微高地が列状に並び、そこに集落が立地しています。これは、波によって打ち上げられた砂礫が堤状に堆積してできた浜堤という地形です。一方で、自然堤防とは河川に沿った微高地を指し、地理院地図からは河川と自然堤防ともにみられません。よって③が誤りとなります。この地域は、標高を読み取ると平坦な海岸平野であることがわかります。周囲に高台がみられないために、津波が発生した際には、避難ビルや津波避難タワーなどを活用したり、少しでも内陸部に避難したりする必要があります。よって④は正しいです。自治体が発行しているハザードマップで、自分の生活圏の状況を確認することも学習につながります。この問題は、『過去問集新選100』問027のアレンジ問題です。

◆問11 次の地図は、南緯20度以南に位置する地域を示したものです。下の文章は、地図中の地域にあらわれる特徴的な地形について説明したものです。空欄ア、イに当てはまる語句として正しい組み合わせを、下の①～⑥のうちから1つ選びなさい。



地理院地図により作成

AとDの地域は、大陸の西岸のアと中緯度高圧帯（亜熱帯高圧帯）の影響などにより、海岸砂漠が形成されている。また、卓越風の風下にあたるCの地域では、山を越えた風が乾いた下降気流となるため、雨陰砂漠が発達する。BとEの地域では、氷河の侵食によって形成されたU字谷に海水が入り込んできたイがみられる。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	寒流	寒流	寒流	暖流	暖流	暖流
イ	ドリーネ	フィヨルド	リアス海岸	ドリーネ	フィヨルド	リアス海岸

【問11の答え】 ② (正解率51.5%)

【ねらい】 世界にみられる特徴的な地形の形成要因を系統地理的に考察する能力を問う。

【解説】 海流について、低緯度から高緯度に流れる海流を暖流、高緯度から低緯度に流れる海流を寒流といいます。南アメリカ大陸西岸の寒流をペルー（フンボルト）海流、アフリカ大陸西岸の寒流をベンゲラ海流が流れています。AとDの地域は、中緯度高圧帯（亜熱帯高圧帯）からの下降気流で上層が温暖、寒流の影響で下層が冷涼という気温の逆転により安定構造となり上昇気流が生じません。降水がないために砂漠が形成され、このような砂漠を海岸砂漠といいます。Aはアタカマ砂漠、Dはナミブ砂漠です。Cの地域は、アンデス山脈の風下に位置し、湿った空気がアンデス山脈の風上側で雨を降らせ（これを地形性降雨という）、山を越えた風は乾いた下降気流となり、雨陰砂漠が形成されます。ここはパタゴニアと呼ばれる地域です。

BとEの地域は、氷河侵食によって形成されたU字谷に海水が入り込んでできたフィヨルドがみられます。一方リアス海岸は、山地や丘陵が沈水したことできて複雑に入り組んだ海岸線をもつ海岸のことをいいます。なおドリーネは、カルスト地形の一つで、溶食によって形成された小さな凹地を指します。よって正解は②となります。

◆問12 次の表は、国勢調査における15歳以上就業者の産業大分類別の割合について、上位5都道府県と全国の割合を示したもので、表中のア～ウは「医療、福祉」「宿泊業、飲食サービス業」「製造業」のいずれかです。産業大分類とア～ウとの正しい組み合わせを、下の①～⑥のうちから1つ選びなさい。

	ア	イ	ウ
1位	滋賀県 27.1	鹿児島県 18.7	沖縄県 8.5
2位	愛知県 25.6	長崎県 18.5	京都府 7.2
3位	静岡県 25.4	高知県 18.4	山梨県 6.7
4位	三重県 25.0	熊本県 17.6	石川県 6.2
5位	富山県 24.8	徳島県 17.5	北海道 6.2
全国	15.9	13.5	5.6

数字は都道府県におけるその産業への就業割合(%)
統計年次は2020年
国勢調査により作成

	①	②	③	④	⑤	⑥
医療、福祉	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
宿泊業、飲食サービス業	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
製造業	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

【問12の答え】 ④ (正解率73.2%)

【ねらい】 都道府県における特徴的な産業を統計から読み取る能力を問う。

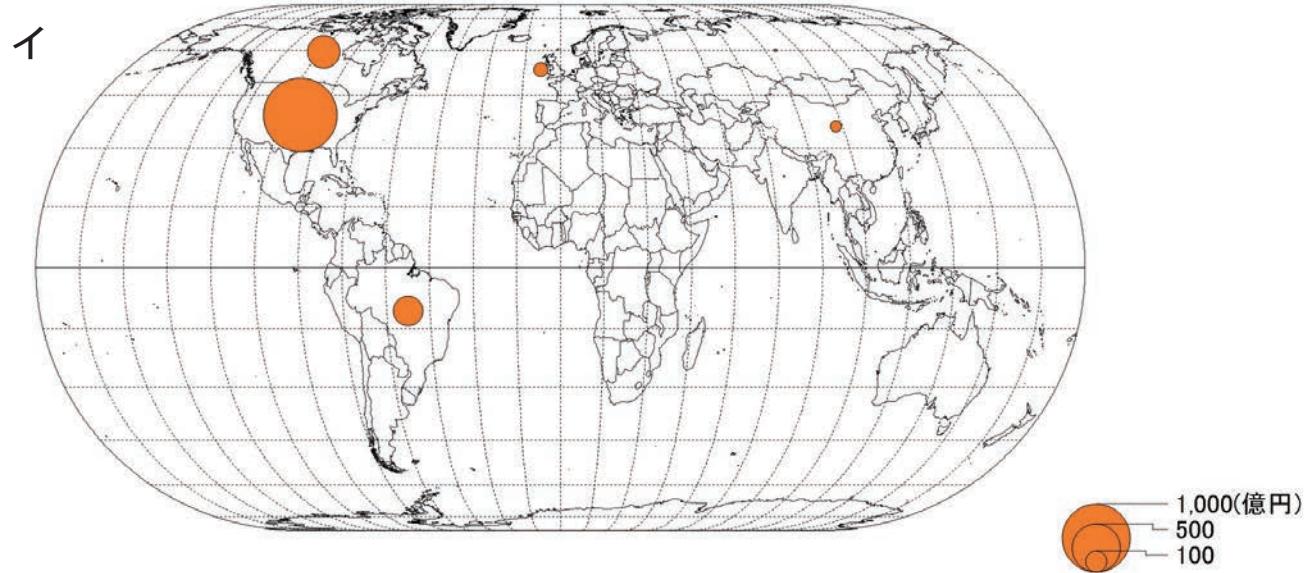
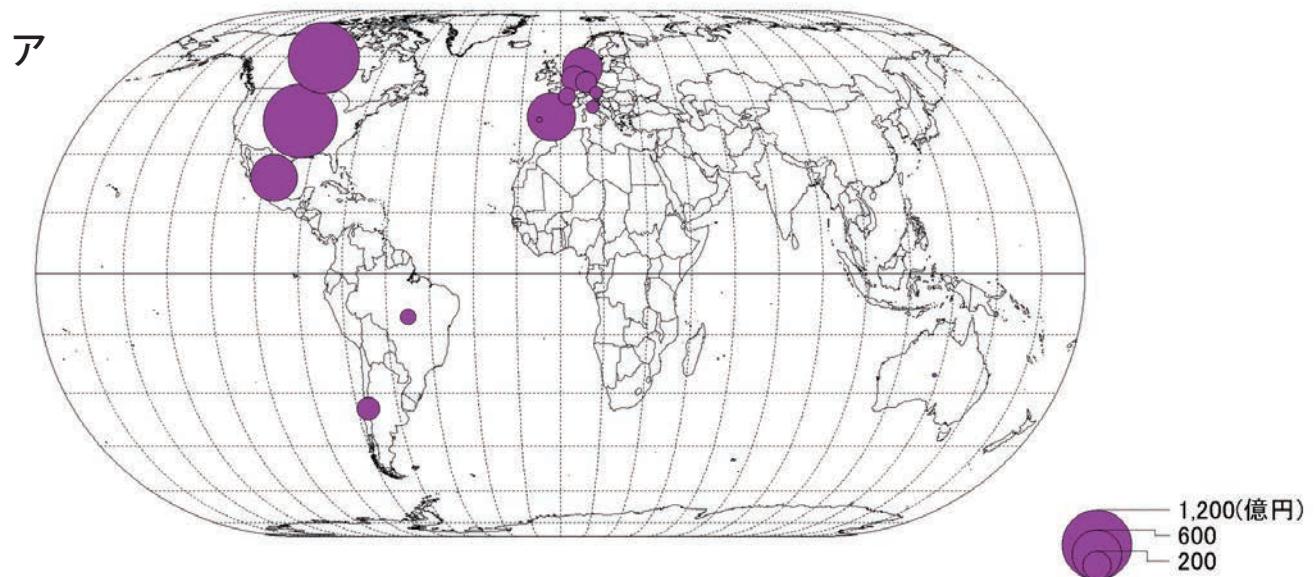
【解説】 まず都道府県に着目して、アは愛知県をはじめとした中京工業地帯に含まれる県が上位に位置しています。日本は自動車産業がさかんで、とくに愛知県での生産が最も多いです。同様に静岡県でも、自動車や二輪車の製造がさかんです。よってアが「製造業」です。また、琵琶湖の水を工業用水として使用できること、関西圏や中京圏などとの交通アクセスが良いことなどから、滋賀県は工場を誘致し、琵琶湖周辺には複数の工業用地がみられます。

ウは沖縄県や京都府、北海道といった観光業がさかんな都道府県が上位に位置しています。とくに沖縄県や北海道を首都圏から日帰りで観光することは厳しく、宿泊業や関連する産業が必要になってきます。よってウが「宿泊業、飲食サービス業」です。

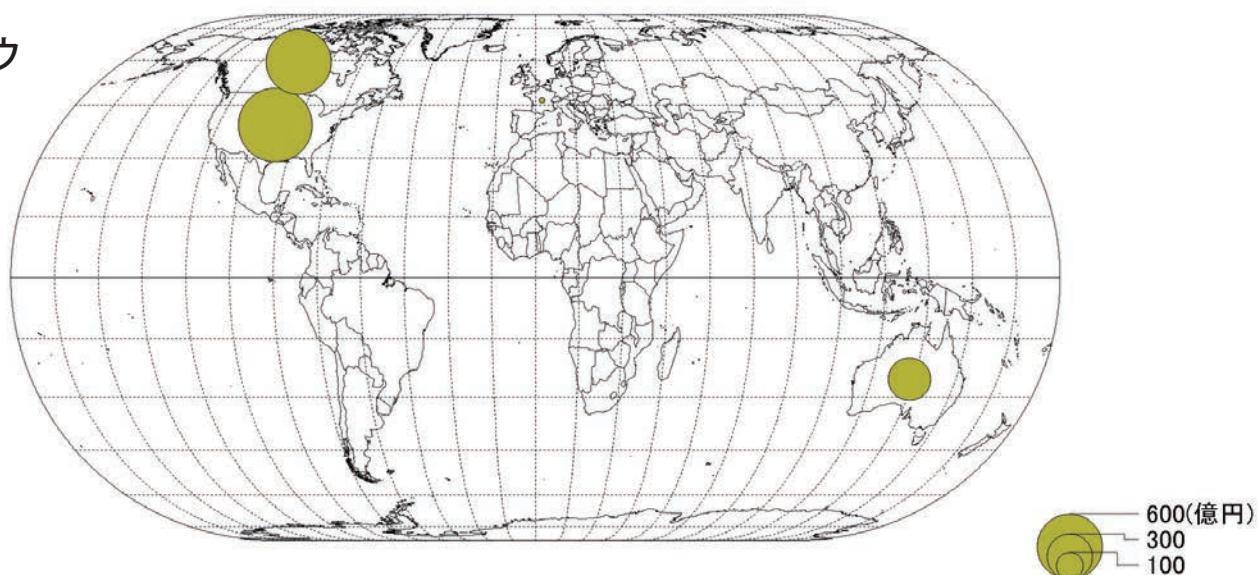
残ったイについて、日本の特徴として、医学・医療の分野が世界の中でも優れていること、超高齢社会で高齢者が多いことが挙げられます。つまり、全国的にみても「医療・福祉」の就業者が多いと考えられます。また、鹿児島県や長崎県といった、大都市圏から離れた地域で割合が高いことからも、イが「医療・福祉」と推測することができます。なお全国での割合も、「製造業」「卸売業、小売業（15.8%）」に次ぐ数値となっています。よって正解は④となります。

◆ 日本は多くの農産物を輸入に頼り、食料自給率が低い現状にあります。日本の農産物輸入に関する次の問13、問14に答えなさい。

問13 次のア～ウの図は、小麦、大豆、豚肉のいずれかについて、日本の輸入相手先と輸入額を示したものです。農産物名とア～ウとの正しい組み合わせを、以下の①～⑥のうちから1つ選びなさい。



ウ



統計年次は2020年
財務省貿易統計により作成

	①	②	③	④	⑤	⑥
小麦	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
大豆	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
豚肉	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

【問13の答え】 ⑥ (正解率29.0%)

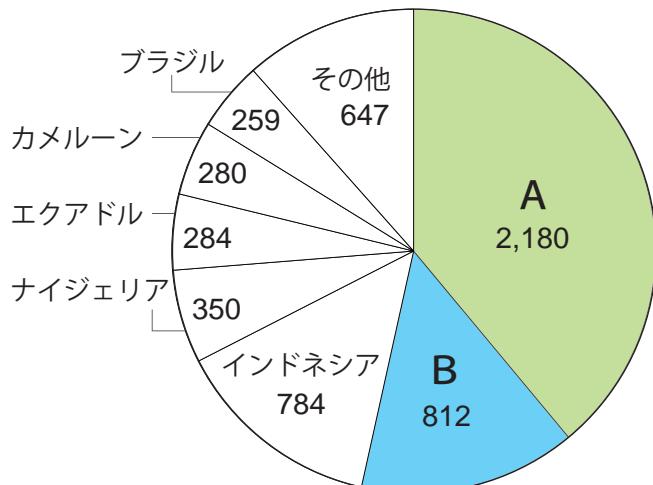
【ねらい】 身近な食物の輸入相手国について、農産物に関する統計地図から考察する能力を問う。

【解説】 まずアは、北アメリカ、南アメリカ、ヨーロッパと輸入相手国が分散していることがわかります。これは豚肉で、アメリカ合衆国ではコーンベルトで生産したトウモロコシを飼料として豚を飼育する混合農業、ヨーロッパでは飼料作物と家畜飼育を組み合わせた混合農業で豚などを飼育します。スペインのイベリコ豚などもヒントになるかもしれません。

次にブラジルに着目します。ブラジルではサバナがひろがるカンポセラードでの大豆生産の拡大が著しいです。これは遺伝子組み換え大豆の導入、穀物メジャーの進出といったことや、日本の援助による開発などで拡大していきました。現在の大豆生産量の上位は、ブラジル、アメリカ合衆国、アルゼンチンとなっています（2019年）。

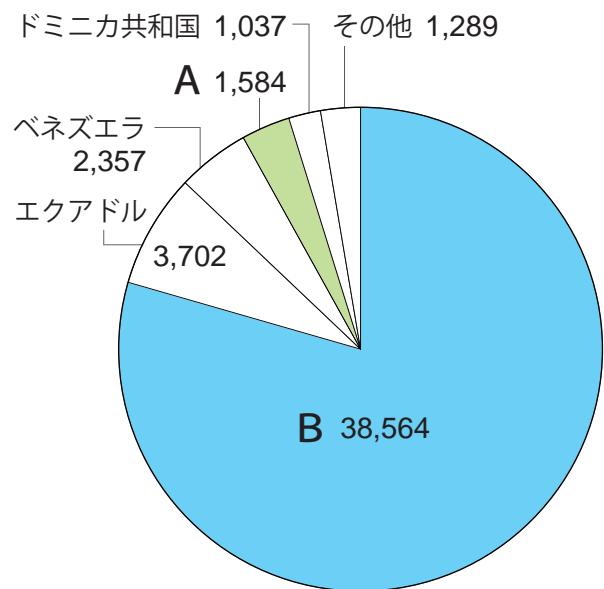
残ったウが小麦です。アメリカ合衆国やオーストラリアなどの新大陸の国では、大規模な企業的穀物・畑作農業がおこなわれ、小麦を大量に生産しています。またアメリカ合衆国とカナダでは、春に種をまいて秋に収穫する春小麦の生産がみられることも特徴的です。よって正解は⑥となります。なお、凡例中の輸出額の違いにも注意が必要で、肉類などの畜産物は農作物よりも高くなる傾向があります。この問題は、『過去問集新選100』問079、第36回問8のアレンジ問題です。

問14 次の2つのグラフは、カカオ豆に関する情報をまとめたものです。グラフ中のAとBにはそれぞれ同じ国が入り、どちらかがコートジボワールです。下の地図は、ギニア湾岸周辺の国々を示したものです。コートジボワールに当てはまる正しい組み合わせを、下の①～⑥のうちから1つ選びなさい。



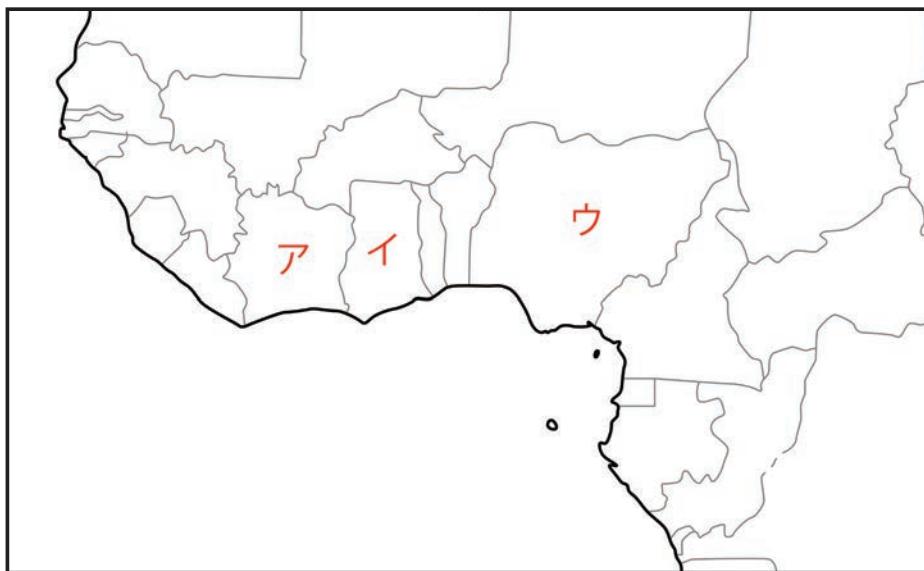
グラフ1 カカオ豆の生産量

単位は千トン、統計年次は2019年
『世界の統計 2022』により作成



グラフ2 日本におけるカカオ豆の国別輸入量

単位はトン、統計年次は2020年
日本チョコレート・ココア協会資料により作成



	①	②	③	④	⑤	⑥
グラフ中の記号	A	A	A	B	B	B
国の位置	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ

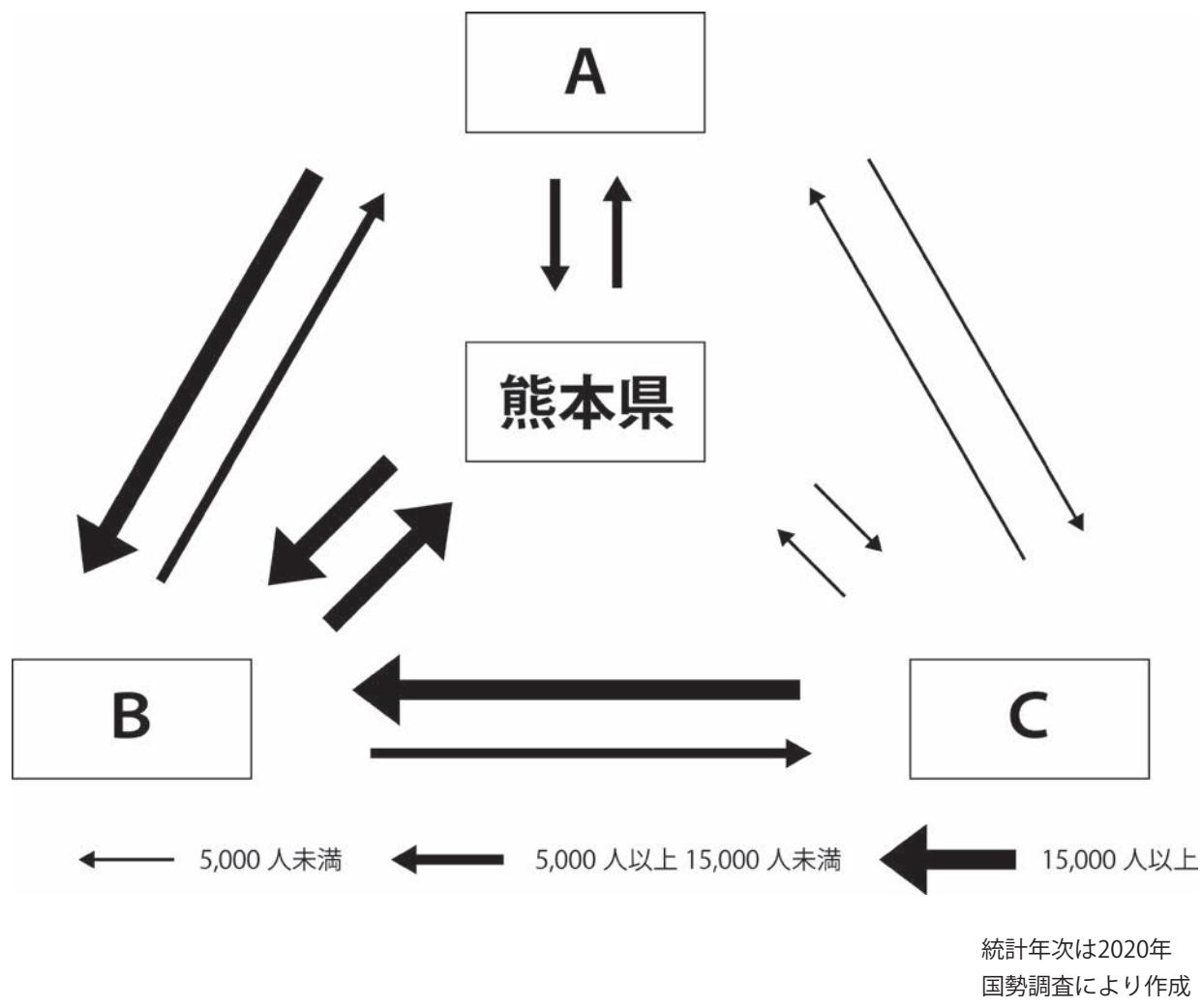
【問14の答え】 ① (正解率39.0%)

【ねらい】 日本と関係が深く身近な農産物の産出国に関する知識を問う。

【解説】 まず、地図中のアがコートジボワール、イはガーナ、ウはナイジェリアです。カカオ豆の生産量は、西アフリカの4か国（コートジボワール、ガーナ、ナイジェリア、カメルーン）で世界の約60%を占めています。これらの国は、年平均気温が高く年間降水量が多い熱帯に位置し、カカオ豆の生産に適しています。また、植民地時代からのプランテーション農業に由来し、現在もモノカルチャー経済となっている国が多いです。これらカカオ豆を生産する地域は、カカオベルトと呼ばれています。

カカオ豆の生産量が世界でもっとも多い国はコートジボワールですが、これはチョコレートの大量生産向けの安価なカカオ豆が主流といわれています。一方で日本では、ガーナからの輸入がもっと多くなっています。これは、国がカカオ豆の生産管理をおこない、安定して生産・流通・品質管理などができるために、日本人の嗜好に合い好まれているといわれています。よってグラフのAがコートジボワール、Bがガーナとなり、正解は①となります。

◆問15 次の図は、熊本県と隣接する県との間における転入・転出人口をまとめたもので、A～Cは大分県、鹿児島県、福岡県のいずれかです。A～Cと県名との正しい組み合わせを、下の①～⑥のうちから1つ選びなさい。なお、転入・転出人口は2015年の常住地と2020年の常住地との比較によるものです。



	①	②	③	④	⑤	⑥
A	大分県	大分県	鹿児島県	鹿児島県	福岡県	福岡県
B	鹿児島県	福岡県	大分県	福岡県	大分県	鹿児島県
C	福岡県	鹿児島県	福岡県	福岡県	鹿児島県	大分県

【問15の答え】 ④ (正解率64.9%)

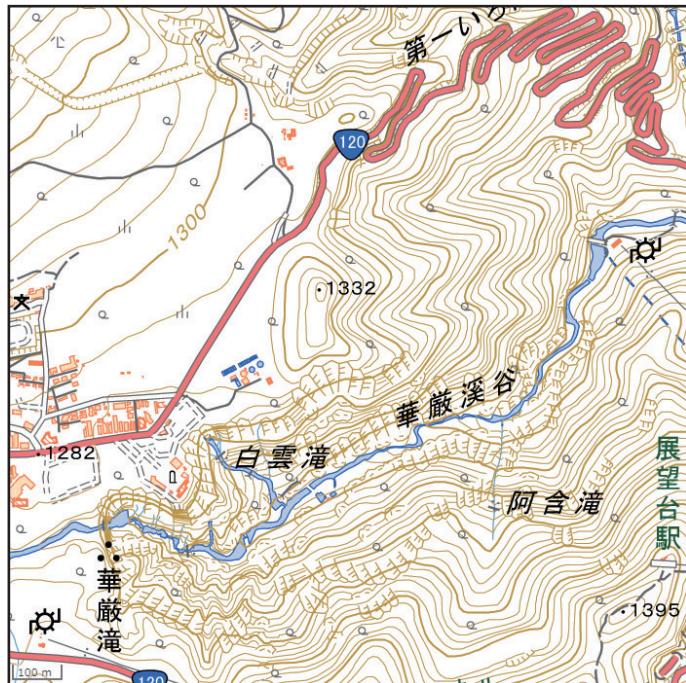
【ねらい】 都道府県間の人口移動を考察する能力を問う。

【解説】 まず、3県すべてからの転入人口が多いBが福岡県です。福岡県は九州地方の経済の中核であり、また福岡市は広域中心都市であることから、福岡県に転入する人口が多いといえます。なお図からは判断できませんが、熊本県からも転入超過（転入24,669人、転出18,997人）となっています。

次にAとCについてですが、熊本県とA県との人口移動が多いことに着目します。九州地方は、中央部を九州山地がとおり、九州新幹線のルートからも、都市の軸が福岡県－熊本県－鹿児島県にあると推測できます。つまり、熊本県と鹿児島県との人口移動が活発であると考察することができ、Aが鹿児島県、残ったCが大分県となります。また、下の表の各県の人口からも県の規模を推測できるかもしれません（出典は令和2年国勢調査）。よって正解は④です。なお、2022年9月に、西九州新幹線が開業しましたが、福岡県から大分県、宮崎県を通る東九州新幹線を整備するという計画もあります。

県名	人口(人)
福岡県	5,138,891
佐賀県	812,013
長崎県	1,313,103
熊本県	1,739,211
大分県	1,124,597
宮崎県	1,070,213
鹿児島県	1,589,206
沖縄県	1,468,410

◆問16 次のア～ウの地理院地図は、日本でみられる再生可能エネルギーの発電所とその周辺地域を示したものです。次ページのグラフは、いくつかの国における再生可能エネルギーの発電量を示したものです。A～Cには、地理院地図中の発電所での発電方法のいずれかが当てはまります。ア～ウとA～Cとの正しい組み合わせを、下の①～⑥のうちから1つ選びなさい。



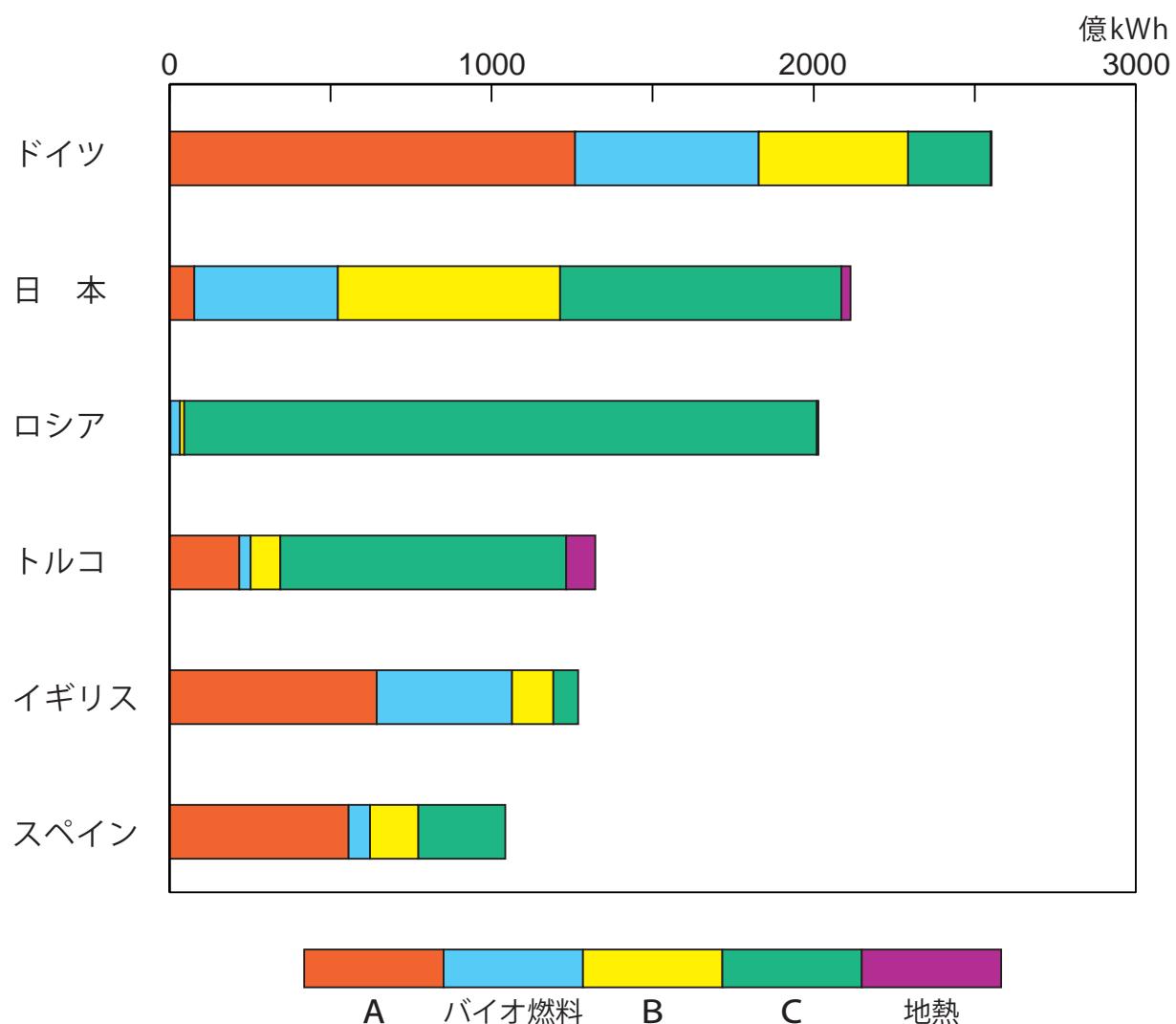
ア



イ



ウ



	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

【問16の答え】 ⑥ (正解率47.2%)

【ねらい】 地理院地図中の再生可能エネルギーに関する発電方法から世界の発電を考察する能力を問う。

【解説】 まず、再生可能エネルギーの発電所を地理院地図から読み取ります。アは等高線が密集し、河川付近に発電所の地図記号があることから、水の高低差を利用してタービンを回す発電方法の水力発電ということがわかります。イは発電所の地図記号はありませんが、「相馬ソーラーパーク発電所」という注記があります。ソーラーパネルによって発電をする太陽光発電ですが、平成25年2万5千分1地形図図式などでは地形図、地理院地図ともに記号がなく、空き地・未利用地のような表示になってしまいます。ウは風車の地図記号が列状に並び、そこに発電所の地図記号があることから、風力発電ということがわかります。なお、アは栃木県日光市のいろは坂付近、イは福島県相馬市、ウは茨城県神栖市です。

次に、グラフを読み取り発電方法を考察していきます。Aはドイツ、イギリス、スペインで多く、これらの国は、偏西風の影響を安定して受ける地域です。つまり、風力が当てはまります。

ロシアは豊富な水資源を持ち、水力発電所は国土の東側に偏っていますが、水力発電による電力でアルミニウム生産をおこなっています。トルコは、ティグリス川やユーフラテス川の源流をもつなど、比較的水資源が豊富です。以上のことからCが水力となります。日本における水力発電が、火力発電に次ぐ発電量となっていることからも推測してよいでしょう。

ドイツと日本で高いBが太陽光です。ドイツは原子力発電を廃止し、再生可能エネルギーを推進する方針をとっています（ただし、2022年10月に、2023年4月半ばまで稼働延長することを決定）。日本でも2010年代から徐々に太陽光発電が普及してきています。

地理院地図の読み取りとグラフの読み取りから、ア（水力）がC、イ（太陽光）がB、ウ（風力）がAとなります。よって正解は⑥です。この問題は、『過去問集新選100』問050のアレンジ問題です。

◆ 次の地図は、インドとその周辺地域を示したものです。インドに関する次の

問17、問18に答えなさい。



地理院地図により作成

問17 地図中の都市Aは、IT産業がさかんなベンガルール（バンガロール）です。この都市は、北緯12度58分、東経77度33分に位置しています。この都市の対蹠点として正しいものを、下の①～⑥のうちから1つ選びなさい。

	緯 度	経 度
①	北緯 12度 58分	西経 77度 33分
②	北緯 12度 58分	西経102度 27分
③	北緯 77度 2分	西経102度 27分
④	南緯 12度 58分	西経 77度 33分
⑤	南緯 12度 58分	西経102度 27分
⑥	南緯 77度 2分	西経102度 27分

【問17の答え】 ⑤ (正解率74.9%)

【ねらい】 都市の経緯度から対蹠点を計算して位置を求める能力を問う。

【解説】 対蹠点とは、地球上のある地点に対する正反対の地点のことです。緯度の絶対値は同じで、北緯と南緯を逆にします。経度は、180度との差を求め、東経と西経を逆にします。都市Aは北緯12度58分、東経77度33分であり、以下のように考えることができます。

緯度：

北緯12度58分 → 南緯12度58分

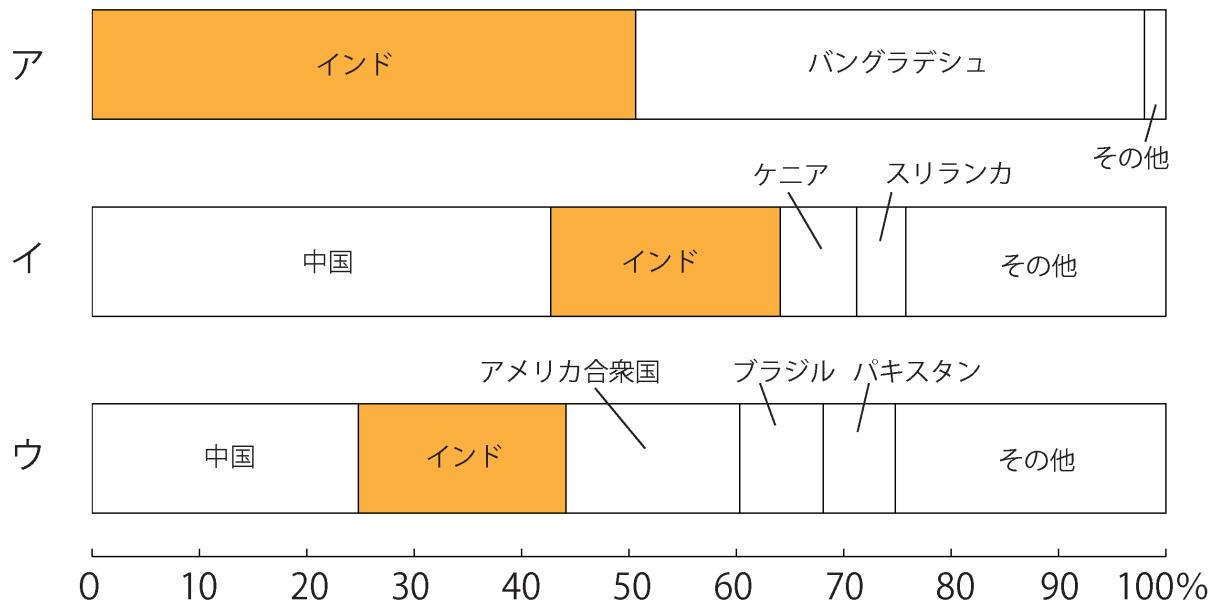
経度：

180度 (179度60分) - 77度33分 = 102度27分

東経77度33分 → 西経102度27分

よって対蹠点は、南緯12度58分、西経102度27分となり、正解は⑤となります。この問題は、『過去問集新選100』問011のアレンジ問題です。

問18 次のグラフは、インドでの生産が世界の上位を占めている農産物の生産量の割合を示したもので、ア～ウはジューント、茶、綿花のいずれかです。ア～ウと農産物との正しい組み合わせを、下の①～⑥のうちから1つ選びなさい。



統計年次はアトイが2019年、ウが2018年
『世界国勢団会』により作成

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	ジューント	ジューント	茶	茶	綿花	綿花
イ	茶	綿花	ジューント	綿花	ジューント	茶
ウ	綿花	茶	綿花	ジューント	茶	ジューント

【問18の答え】 ① (正解率65.8%)

【ねらい】 南アジア地域で生産される農産物を統計から考察する能力を問う。

【解説】 まず、それぞれの農産物の生育条件を考えてみましょう。茶は高温多雨地域、綿花は温暖で開花後に乾燥する地域が適しています。また綿花は、玄武岩が風化した黒色土のレグールでの栽培に適しています。麻袋の原料となるジュートは、温暖湿潤で月平均降水量が75～100mm程度の地域での生産が適しています。これらの情報を、地理院地図に示された地形条件をヒントとしてインドに当てはめると、茶は北東部のアッサム地方、綿花はレグールが分布するデカン高原とインダス川流域、ジュートはバングラデシュとの国境付近に位置するガンジスデルタでの生産と推測することができます。よってアがジュートであることがわかります。

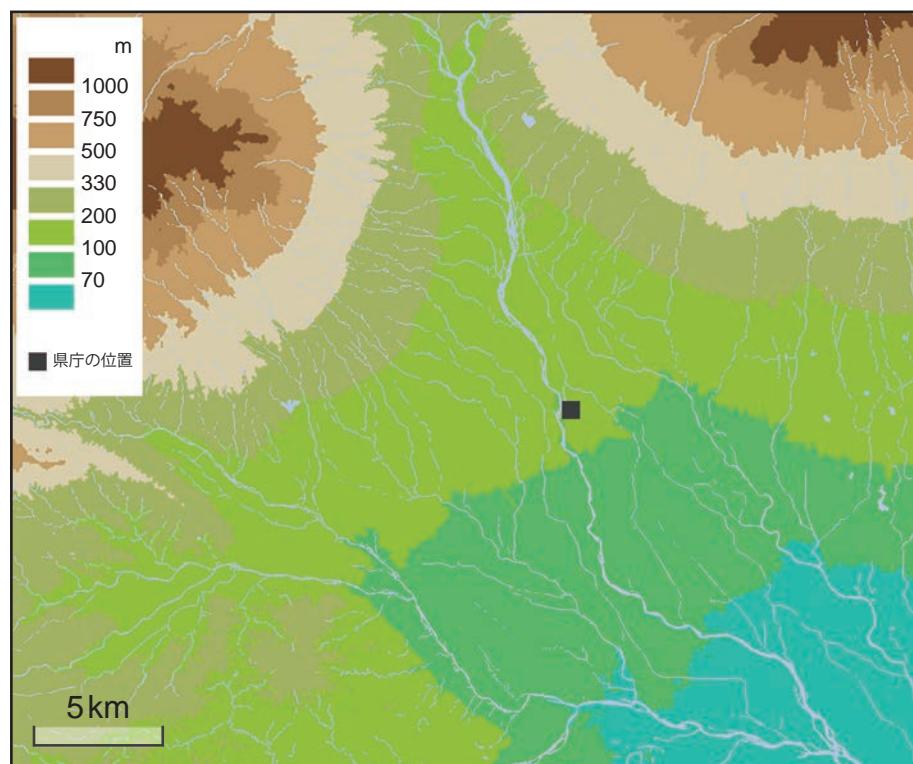
次にインド以外の国についてですが、イには旧イギリス植民地であるケニアとスリランカが上位に入っています。スリランカでの茶の栽培は、イギリス植民地時代にプランテーション農業が持ち込まれたことにはじまります。紅茶の銘柄の「セイロンティー」の一大産地でもあります。ケニアは赤道直下ながら標高が高く冷涼であり、ヨーロッパ系が多く入植して「ホワイト・ハイランド」ともよばれました。スリランカと同様に、イギリス資本のプランテーション農業で茶の栽培がおこなわれました。よってイが茶となります。

残ったウは綿花ですが、アメリカ合衆国に着目します。アメリカ合衆国南部では、かつて、黒人奴隸を労働力とした綿花のプランテーション農業がおこなわれていた背景があります。現在の綿花栽培の中心はテキサス州にうつっていますが、南部の州では現在もその名残を確認することができます。よって正解は①となります。

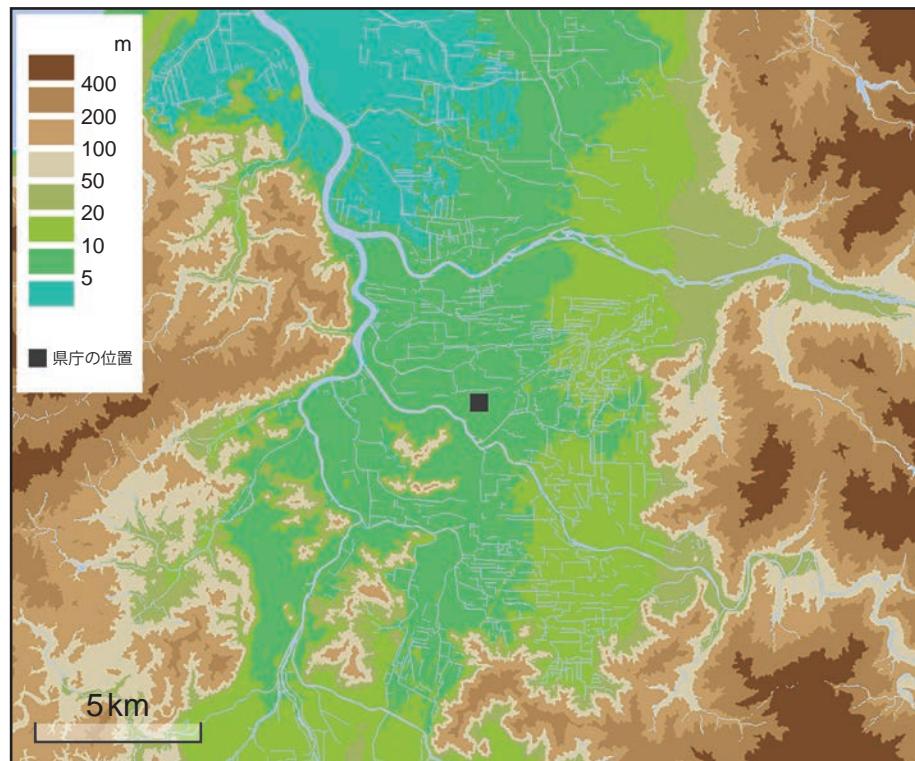
◆問19 次のA～Cの文は、徳島市、福井市、前橋市のいずれかについて説明したもので、下のア～ウの地図は、県庁所在地およびその周辺地域を地形段彩図であらわしたもので、A～Cとア～ウとの正しい組み合わせを、下の①～⑥のうちから1つ選びなさい。なお、地図はすべて北が上になっています。

- A この都市は、周囲を流れる3つの河川により形成された沖積平野に位置しています。市街地の約10km南東の谷あいにある、中世に栄えた城下町の遺跡は、国の特別史跡・特別名勝・重要文化財の指定を受けています。
- B この都市の中心市街地を流れる河川は、日本一の流域面積をもち、日本で2番目に長い河川です。この都市から約10km南西には、同規模の人口を有する都市が発達していて、コナーベーション（連接都市）を形成しています。
- C この都市を流れる河川は、河口部の川幅が大きく、もっとも川幅が広い部分は荒川に次ぐ広さといわれています。また、中央構造線の南側に位置し、日本列島の地体構造上の境界線や活断層を確認することができます。

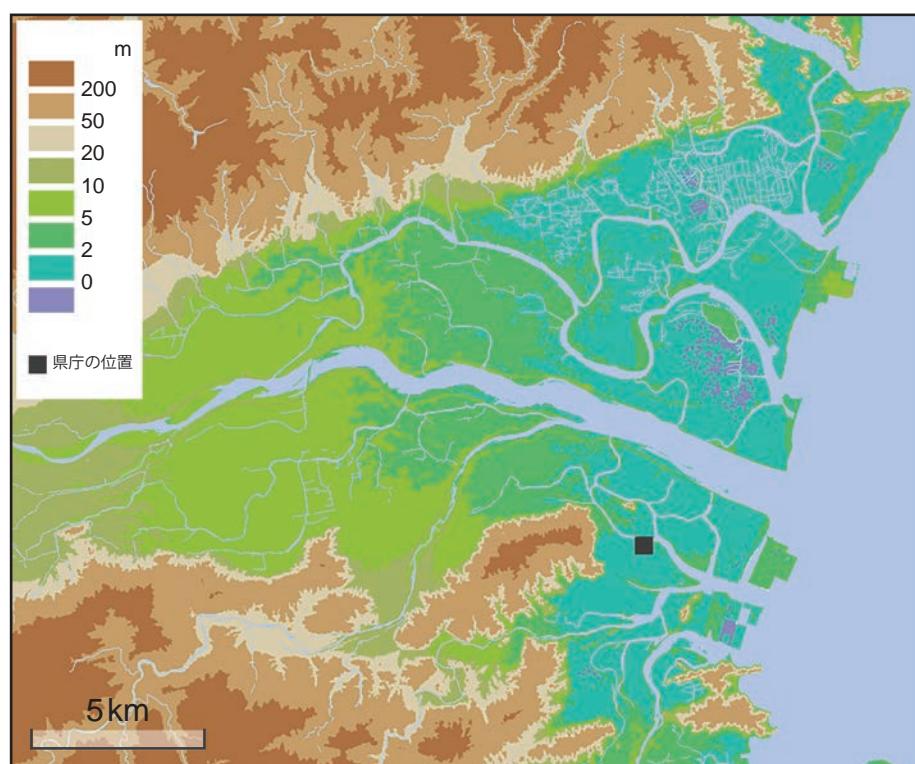
ア



イ



ウ



地理院地図 Vector により作成

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

【問19の答え】 ③ (正解率71.9%)

【ねらい】 市域に大きな河川をもつ県庁所在地を地形から考察する能力を問う。

【解説】 まず、Bの河川は日本一の流域面積をもつ利根川で、大水上山（大利根山）を水源に持ち、上流の片品川と合流する地点では河岸段丘を形成しています。また、活火山である東の赤城山、西の榛名山にはさまれた地域を河川が流れ前橋市に到達します。前橋市は行政や文化の中心ですが、南西に位置する高崎市は鉄道が発達し、交通や経済の中心といわれ、前橋市と高崎市はコナーベーション（conurbation、連接都市）を形成しています。地図はアがあてはまります。地図中の2つの山が円錐のような形をしており、火山であるとも推測できます。また南東部の標高が低い地域は関東平野の北西端です。

次に、Cの川幅が荒川（2,537m）に次ぐ広さといわれている河川は吉野川（2,380m）です。吉野川は中央構造線におおむね沿って流れています。徳島市に位置する河口部が広く、この河川の最大の川幅を有するといわれています。また徳島市は、日本を内帯と外帯とにわける中央構造線の南側に位置します。地図はウがあてはまり、中央構造線が明瞭になっています。

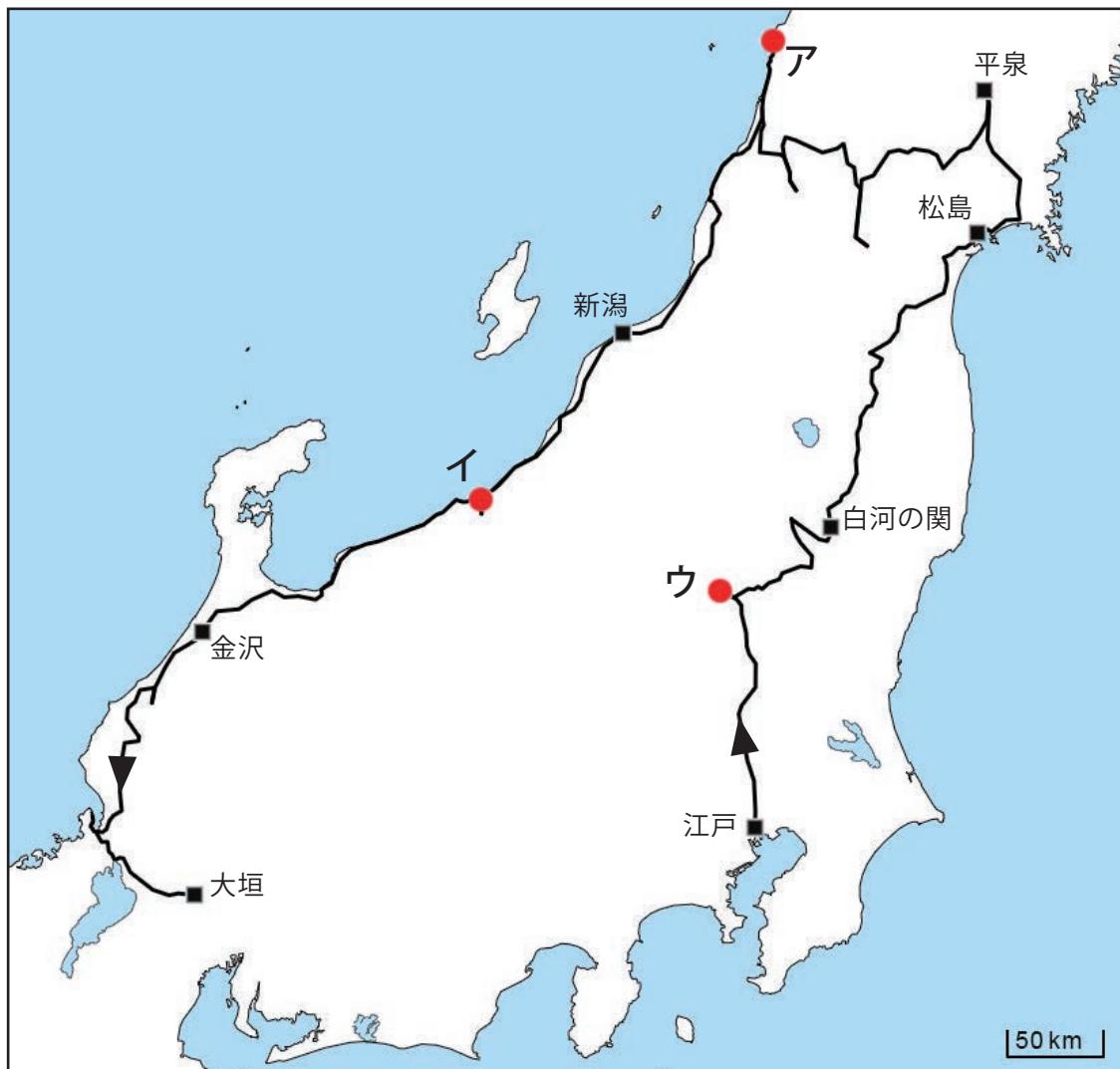
残ったAの3つの河川とは、福井市を流れる九頭竜川、足羽川、日野川を指しています。市街地南東の谷あいには一乗谷朝倉氏の遺跡や庭園があり、戦国時代の山城とその城下町が良い保存状態で発見されています。地図はイがあてはまります。河川が北西に向かって流れていることも、都市の位置を推測するヒントになるかもしれません。よって正解は③となります。なお、凡例中の標高の値が異なる点には注意が必要です。この問題は、『過去問集新選100』問099のアレンジ問題です。

※設問のCの文に誤りがありました。訂正してお詫びします。なお採点には影響ありません。

誤) 地帯構造上

正) 地体構造上

◆問20 次の地図は、『おくのほそ道』の行程を示したもので
す。A～Cとア～ウとの正しい組み合わせを、下の①～⑥のうちから1つ選
なさい。



- A 荒海や 佐渡に横たふ 天河
 B あらたふと 青葉若葉の 日の光
 C 象潟や 雨に西施が 合歓の花

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

【問20の答え】 ④ (正解率84.4%)

【ねらい】 俳句の語句から詠まれた地域を考察する能力を問う。

【解説】 まず、地図中の地点から、松尾芭蕉が立ち寄ったと思われる地点の見当をつけてみましょう。ウは霞ヶ浦より北に位置し、白河の関より手前であることから、栃木県と推測できます。アは平泉とおおむね同緯度であることから、秋田県と山形県の県境付近、ウは佐渡島の南であることから上越市付近と推測できます。

次に俳句の語句から読まれた地点を推測します。Cの「象潟や」は、秋田県にかほ市の象潟きさかたを指しています。象潟は、かつては無数の小島が点在する入江で、その景色を詠んだ俳句といわれています。『おくのほそ道』での最北地であるアが当てはまります。Aの「佐渡」は日本海の奥に見える佐渡島を指しています。地図からイの地点で詠んだと推測できます（出雲崎で句を考え、上越で詠んだという説もあります）。残ったBの「日の光」から、栃木県日光市の日光東照宮がイメージでき、ウが当てはまります。日光市の手前に位置する鹿沼市では、鹿沼宿に一泊してから日光に向かったという記録があり、それに関連したまちおこしにより観光行動の一環としてPRしています。よって正解は④となります。